

NPO 法人原爆先生 池田 眞徳先生

2.3 時間中は原爆の話をして  
くださりありがとうございます。  
話を聞いて原爆の恐ろしさがわ  
かりました。

中でも 落とされたら逃げる事ができ  
ずに数秒で消えてしまうということに  
おどろき、やりました。

そして、目撃した人の話で原爆がもっと  
恐しくなりました。

生き残った人が電話局の地下トイレに  
いたということを知って他にも生存者はいな  
かったのかと疑問に思いました

今回の話を聞いて私も今原爆を落とされたら  
どうなるかという疑問に思いました。

それから、広島でいよいよ食館に行って  
大変でおそろしかったということも

多くの人に知ってもらったと思います。

6-2 青木 陽太

池田 眞徳 先生

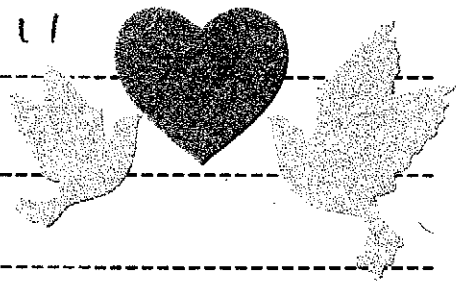
今回、先生の父である池田義三さん  
の手記から原爆の恐ろしさ  
威力を、教えて頂きありがとう  
ございました。

池田義三さんが目にした光景、  
体験は、おっしゃったとおり、作ったり  
言葉で表現できるような甘い光景  
ではないと感じました。

私たちのような現場にいなかった人たちは、  
そのようなものでも震えがとまらない  
のに、涙を流しながら、何日も何日も  
耐えて、仕事をしているのは私なんて  
耐えられないと思いました。

この体験を次に受けづく私たちが  
家族のみんなに伝えたい  
と思いました。

6-2 飯田杏花



池田さんへ

今回、90分ものお話を聞かせてくださり、ありがとうございました。

ぼくは、広島原火暴のことをあまり知りませんでした。今回の話ですこしは広島原爆のことを知りました。話で原火暴のおそろしさ、原爆で死んでしまった人、大けがをってしまった人のひさささを聞き、その何十倍もの原爆があることにとてもおどろきました。とくに、たった1kgだけのウランが広島がぼくはっしてしまっただけのことがおどろきました。

ぼくは、ただ人をこらすだけのものがなくなり、平和になれればいいな  
と思えます。

6-2 石田善菜

池田 眞徳 先生へ

先日は、原子爆弾のことに教えて下さってありがとうございます。  
ございます。

僕は、このお話で、原爆の凄さと恐ろしさ分かりました。

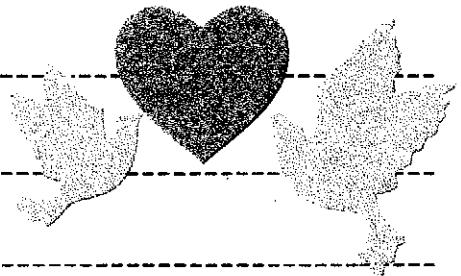
それは、たった一つだけの爆弾だけで、多くの人々の命を奪ったその力です。図では、表面温度が7000℃もあり、いっしょにして人がなくなるとい話がありました。

これを見て僕は、自分では想像が出来ないほど悲しかった。たと分かり、とても悲しい事だと思いました。

空襲の時でもそうですが、これらの戦争は、後になり考えると、絶対に戦争を起さしてはならないと強く感じました。

また、この話で改めて、戦争の怖さが分かったので、未来に、こんな事が二度と起こらないようにしたいです。

6-2 今井龍海



# 池田眞徳先生へ

ぼくは、池田先生に原火暴の話をしてもらって改めてそのはかいかというのがわかりました。

原火暴のことを最後まで聞いたらその時の時代はとてまたいいんだ。たんだなと思いました。

原火暴のことを話してもらい思ったことはまず、東京に落ちなくてよかったということと落さぬときの映像でどのくらいのはかりかを持つかということですね。

東京に落ちたらと考えるともう本当にすげえたんだなと思いました。

その時の様子もよくあつてよかったです。ほかにもどうやっておきたとか原火暴雲の動き方とかいろいろあつてよかったですね。

今回原火暴の事を話していただきありがとうございました。

6年2組 萩原琉風

池田眞徳先生へ

今回の特別授業で、改めて原爆の恐ろしさや威力を知り、広島の人々がどんなに辛い思いをしたかが少し分かりました。

私は実際に体験はしていないので、

本当の痛さやつらさはよく分からなかったけど、

お話を聞いていくうちに体の痛みが伝わってきました。

今まで知らなかった原子

爆弾の細かい事も知れたので、もう二度

とおきてほしくないと思うようになりました。

また、軍隊に入って、本当はやりたくない仕事

をやると、どんなに不安だったかがよく分

かりました。そして今、助かった人はどんな

気持ちでいるのかなと思いました。

今回は分かりやすい授業を受けられて

今後の学習につなげたいと思

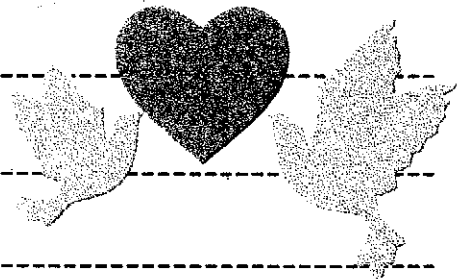
いました。本当にありがとうございました。

ございました。

6年2組小野寺永遠

NPO法人原爆先生 池田真徳 先生へ

今回、原爆や戦争についてたくさんのお話を教えてくださり  
ありがとうございました。僕は、今回の授業を受けて  
戦争の恐しさをあらためて知る事が出来ました。  
空襲や原子爆弾によってたくさんの方の尊い命が  
うばわれまいきとも恐ろしく、怖く感じ、今の世の  
中とは、全くちがう日本のすがたが分かり平和の  
素晴らしさや尊さを、知りました。でも、そのたくさん  
の犠牲があつてこそ今の平和があると感ずると、  
原爆で亡くなった方の命は決してむだにはなつて  
いないと感じます。また、これから、永遠に平和で  
あるには、戦争の恐しさを、誰もが知ってい  
る事が戦争のおきない世の中を作るのでは  
ないかと思ひます。貴重な体験 本当に  
ありがとうございました。六年二組 山由玄太



原爆先生(池田真徳先生)へ

今回は、この松沢小学校に来てくださりありがとうございました。

広島戦争ですごい人が亡くなるということがあまり想像できません

でした。特に印象的だったのが、ゴルフボールくらいのぼくだんで

広島街のみこまれたということです。そこにいた人は、白い光のよう

なものに包まれ、少しすると、水がじょう尻し黒いかげだけ残ると

いうことです。また、ぼくはつすると雲が何そうにも積み重なり最終的

に横に広がることのできるこ雲になるということがわかりました。

話を聞いていて、大やけどをおった人は皮がはがれ落ちも皮きくらし

みながらいたみをたえている人。うじ虫がはんしょくくさる人。など、

聞いていて戦争のこめさかとても伝わってきました。この戦争により、

何万人もの死者、被爆者かいて、家族など大切な人をたくさん

失い今生きている人も、一度もこのことを忘れた人はいなかったと

思います。ひしにたまけをもとめた人そのまま亡くなってしま、た人

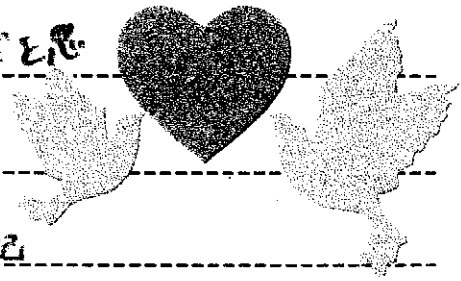
がたくさんいると思うと、今私が過ごしている日じょうは、昔の人には

できなかつたと思うと私は、幸せもめだと思

いました。戦争はおそろしいものだと

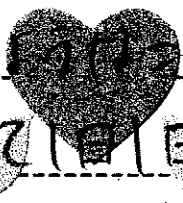
実感しました。

6-2 糸原 優紀





地田 眞徳 さん

今日は原爆のことを分かりやすく教えていただきありがとうございます。原爆はどれだけ、おそろいものなのか、伝わりました。地田さんのお父さんが見たおそろい、亡き被害者、亡き戦友へのつらく、悲しい気持ち最後のインタビュービデオで、お伝えしました。今の日本は平和で豊かな町ですが過去をふり返ってみると、1日1日が苦しく、いつどこで爆弾が投下してくるか不安で安心にたからせないので、おちつかない気持ちになりました。この9日間、豊かな平和な町が、一気にまっ黒く焼け、どれだけの人が苦しい思い、不安な思いをしたか、さぞも原爆というものをなされたのか、ぎもんに思っています。今回の原爆の特別授業を通して、原爆の知らなかったこと、どれだけ苦しい出来事が感じられました。孫からの日本にもこの  とかおきなはいよう日本人と人が協力して1日1日大切に生きていくべきだ”と思いました。

6-2 小竹 和奈

池田先生へ

本日は原爆のことがよく分かりました。

目標 3000km 日本・広島 天気によ、7こくら長崎に行きます。

直径 5km の大きなとです。

リトルボーイと言う身長 3m・重さ 4t のが 8月15日投下されました。

ラジオ ヨンテ パラシュートで広島的气候を調べる。おうぶつ線をえがきながら姿勢を固定して高度を急げます。

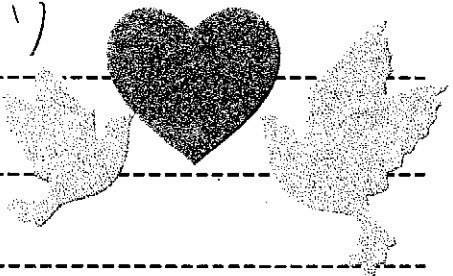
よにげよう T字型の橋目的とれこうちてん。

熱線はひょう面が 6000 とあつ高さ 600m にありました。

本日は本当にあり

がとうございしました。

6年2組 佐々木空斗



池田真徳先生へ

今回は、私たちのために松沢小学校に来てくれてありがとうございました。私は、あまり戦争の話は聞いたことがなかったのですが、今回池田さんの話を聞いておどろいたことがたくさんありました。でも、その中でも印象的だったのが、被爆者数が24万人で70%、死者数14万人で40%だという話です。私は、この話を聞いて、どれだけ、原爆がおそろしかたかということが改めてわかりました。また、原爆が落とされた時、あまりのあつさに一っしんで、せくなってしまったり、放射線で、せくなってしまったりして、とても残酷だなと思いました。私は、池田さんの話を聞いて改めて、戦争はもう絶対にいっけなれとだなと思いました。

65 佐藤瀬奈

池田眞徳先生へ

風が強くなり、寒くなってきました。先日は、貴重なお話ありがとうございました。私は、池田先生のお話と、写真を見て、原爆は「怖いものた」という恐怖感がとても強くなりました。

ウラン60kg中たったの1kgしか燃えていないのに、広島を焼きつくしてしまったという話を聞いて、おそろしさでいっぱいになりました。1kgだけでもこんなに苦しんでいる人がいるのに、60kgだったらと考えると怖くなり、また悲しくなりました。

お父さんの義三さんが話してくれている映像を見ていたとき、義三さんが言葉につまんでいるところをみて、やはり、話すことはつらいんだなと思いました。

現在は、核をもっている国が  
きまりがあるのに、核を持っている国が  
あります。その国が核を捨て、将来、  
核のない世界になってほしいと思いました。

6-2 塩入 愛佳

池田 眞徳 先生へ

今日は寒い中、わざわざ松沢  
小学校に足を運んでくださりあ  
りかとうございました。

授業を受けて改めて原爆の恐  
ろしさを考えました。池田眞徳  
先生の父親が被爆した人を担  
いだと耳にしたとき私はずっとし  
ました。衛生面では大丈夫なのか  
と思いました。でもそんなことを  
考えずにやるのが戦争であるこ  
とわかっています。と同時に戦  
争は絶対にやっつけてはいけないも  
のだと思いました。

これからの未来に戦争のない国  
を築り上げるのは私たちです。

今日の授業を忘れずに

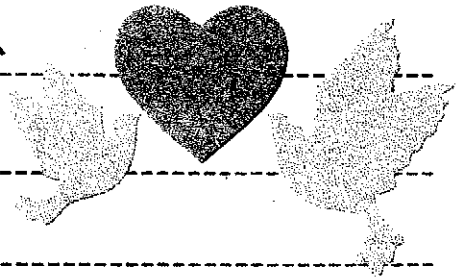
これから生まれる人たちに伝えていきたいです。

6年2組 鈴 不里彩

原爆先生と池田先生へ

ウラととても重くてとてもい力が大きいので  
すね、なぜなら広島に落ちたゴルフボール  
ほどの大きさでした。た1kgなのにとても広  
いはんい力がひかりにあうからです。なので  
すべて落ちていたら、今の日本はなか、たひは  
ないのでしょうか？一つしつ間かあいま  
す。たふんで原爆受下目木票地から  
ずれたところに落ちたのですか？返し  
はできたらいいです。お母さんと話したの  
ですが、テニア島さんも京都に原爆を落とさないとく  
たのひ少しはめさしいと思ひました。木板ど  
か炭になるのは知っていたけど人まで  
炭になるとは思わなかつたのでとてもびっくり  
しました。今日は原爆のおそろしさをおしえて  
くださりありがとうございま  
した。

6-2 祖父山夏鈴



NPO 法人原爆先生 池田真徳先生

本日は、お急しい中戦争とくに原爆についてたくさんの事を教えてくださり、ありがとうございました。

私は今日の学習を通して戦争のおろかさそしてその戦争を起こす人間のおろかさを深く感じました。それとともに人をきずつけていくだけの戦争はもう起こしてはいけないと思いました。

しかし、他の国はいまだ戦争にあけくれている中どうしたら「平和な地球」へとむか、ていけるのか、その難題を解くき、かけを見つけるためにもっと戦争について学びたいと思いました。当時の様子そのままでも

一所懸命学んでいきたい

です。

6年2組 高橋 紗羅

池田 眞徳先生へ

今回の授業で原爆についてのことが今までよりもよく分かりました。私は、原爆の被害がここまで大きいとは思っていませんでした。原爆の被害は高い温度でしか受けることはないと思っていたけれど、今回の授業を受けて、それは間違っていたと分かりました。

原爆ということは、人口の40%が亡くなってしまふような、残こくで、おそろしいことだし、原爆の被害も高い温度だけではなく、ほかにもたくさんの理由があったということも教えてもらって、原爆は、

今回教えてもらったことの他にもたくさんの方があつたのかと思いました。なので、原爆についても

調べてみて、その時代の人のくろうなを知って、

今の暮らしにつなげて行きたいと思いました。

このような原爆は、この国でも、他の国でも、やめてほしいと思いました。

原爆についてたくさんの方を

教えていただき、ありがとうございました。

6年2組 田口晴菜



池田眞徳 先生へ

先日は、私達に原子爆弾の恐怖や「原爆投下」について教えて下さってありがとうございました。

池田先生から、「3つの都市とも天候が悪かったら、原爆投下は辞めていた」と伺って、雨が降っていれば良かったのにと感じました。

京都に重要な文化財がたくさんあり、統治した時の日本人の感情を考えると候補から除外されたということも、そのような人情があるのなら、恐ろしいという言葉では表わせないほどに恐ろしい「原子爆弾投下」という手段は使わないう欲しかったと強く思いました。

今回は、テレビなどは表現されていない「原子爆弾の恐怖」と実際に体験された方の親族の方にお伺い

することができ、本当に本当に、貴重な体験だった

と思っています。たった少しの力で何十万人という数の尊い命が一瞬にしてうばわれる。

こんなおろかな事がこれからも続く国が、お母のど世界と戦争をしてほくないと願いました。今回は本当にありがとうございました。

62 田中萌璃

池田さんへ

今日は、原爆のことについて教えていただきありがとうございました。僕は原爆がとてもおそろしいものだといふのを知っていましたが、実際に義三さんが書いた日記を聞くことにより、よりいっそうおそろしいものだといふことを実感しました。僕が印象に残った場面は義三さんが泣いていたところです。義三さんは実際にことを経験しているのです。原爆がいかにひどいものであるかということを知っているからこそあそこで泣いてしまったのだと思いました。義三さん、真徳さんが教えてくれたことを胸にきざみ原爆のない世界にしたいと思いました。

徳光 優心より

池田先生へ

先日は、わざわざ松沢小学校へ授業に来て下さってありがとうございました。

お父さまの貴重なお話をして、思いは一生わすれません。

私は原ばくについて知ってはいたけれど、今のようには知りませんでした。先日の授業で、原ばくのおそろしさ、そしてくわしい原爆の話を知りました。

人々の命を一瞬にしてうばった原ばくは、絶対に二度とくりかえすものではないと改めて感じました。

今でも原ばく病に苦しむ人やぎせいになってしまった人にも、今は平和ですと言ってあげたいです。

授業のおかげで戦争をより身近に感じることができました。ありがとうございました。

6-2

中尾 紗羽

NPO法人原爆先生池田貞徳さんへ

池田貞徳さん今日は松沢小学校  
6年生のためにきてくださりあり  
かとうございいます。

ほくは広島で原爆があったこと  
はらしていましたが、これまで  
に、すさまじくおそろしく、こわいものだと  
考えていましてした。なので、今  
回の話を聞いてより深く原爆を考  
えるようになりました。

貞徳さんのお父さん、池田義三さん  
の足跡の保持のことはわかりませんが、でも  
義三の体験の話でほんとうに殺  
された人はかおいらでした。ひろは  
とけて、ねんえまかていて、ういんシ  
がすすどちにいることはずこ  
くせあか、夫のかと思いま  
す。今日はありがとうございました  
ごいいます。 6-2長坂将希

NPO法人原爆先生 池田真徳先生へ  
先日は、原爆についてのお話ありがとうございました。この話を聞いて原爆がいかに恐ろしいかどれだけの人の命を奪ったか、今、国がそのようなものを持っている恐ろしさも考えることができました。

原爆の被害を受けた人は、24万人と想像を超える人が被害を受けていて、その人たちは、どれだけの被害を受けたかが分かると、とても恐ろしいものだと思います。二度とそのようなことが起きないために非核三原則もあり、また起こってもそれの対策をしていくべきだと考えました。

また、太陽のような温度のものが、地球にあるということ想像すると熱いところではない熱さがおそってくるのでそのようなことが起きないために、他国との言い合いをしないでほしいです。また、なぜ広島だけが狙われたか理由を聞いたら、アメリカがとても自己中心的だと思いました。

6-2 中島慶大

池田 眞徳さんへ

今日は、原爆の話をしてくれてどんなにうれ  
んだ、たかがよく伝えます。私が一番衝撃を受  
けたのはテレビで見た一部です。人間が一しん  
で消えたり形だけが残っているという所です。

皮がはがれ、肌もぼろぼろになり、どんなに  
つらかったか、苦しか、たかが話を聞いていた  
らすごくわかります。今でも生きている「原爆」を  
経験した人たちは昨日のように思えるとい

いました。私もその通りだ"と思います。実際  
に体験した人しかわからない想像を絶する  
物だ"と思いました。初め候補として京都

があげられました。昔から文化などが  
伝わっているのでも、やめになっただけと

広島も京都も全部の都道府県にも命はちゃんと  
あるので原爆はやめてほしいです。

戦争かしたい人したくない人

それぞれあります。私は反対です。

今日、本当にありがとうございました。

6年2組沼田 優花より。

池田 貞徳先生へ

今年も糸冬ありに近づき大みそか  
恒向かい掃除をしておりますか？

先日は、原火爆被害の詳細を教え  
て頂く貴重な体験をさせて頂き誠にありが  
たうございました。

何れかを破壊する原爆の恐ろしさか分  
かりました。

熱線<sup>熱線</sup>で建物を溶かし、人々は水分が蒸  
発し、炭の塊となり衝撃波で全てを破壊  
する。かろうじて生き伸びた人の放射  
線による原爆病でたぐさ人の人が死に  
てこれに生き伸びた人も闘病生活に苦んで  
いると思つくと原爆の破壊力があつた  
まじいと思ひました。

こんな普通でよいよい

貴重な体験をさせて頂き

ありがとうございました。

6年2組 伴大輝

池田貞徳先生へ

原爆投下の被害について話をして頂き聞いていただけなのに悲惨な思いが次々とおしよせて来ました。それぐらい今回の学習は印象的でした。

広島に原爆被害があったという事を知っていましたが、実際は表面温度7000℃の物体が降下して熱線を放ち町全体をしく熱の炎でおおいあらゆる物を熱していたと思うと想像も絶します。人間の様ではない人間そうおっしゃっていた様にあれ果てた姿、絶叫を目の当たりにした人々の心境がいかなる物だったのかも想像が付きません。ぼくは、広島に原爆ドームに行きたことがあります。現実はずっと残酷なものだったと今回の学習で確実なものになりました。

当時の事はやはり経馬灸者には分からないことが多くあると思うけど平和について考えることはぼく達にも出来る事なのでそういう事を心掛けていきたいと思います。

6-2 藤代明典



池田 眞徳先生へ

今回、原子爆弾や広島のお話をしてくださ、てありがとうございました。

広島のお話をしてくださるたびに、原子爆弾はとてもおそろしいものだ、と思いました。

い、しゅんで体の水分が蒸発、そしてその原子爆弾を持っている国が他にもあると聞き、日本はもうじこの国とも戦争をしてはならないとも思いました。

今回このお話を聞いて、日本は世界でただ一つ原子爆弾も落とされた

国という事を、いつも心の中に入れておこう、と思いました。

今回は、貴重なお話を本当にありがとうございました。

松沢小学校 本間 らら




# 池田 眞徳 先生へ

今回の先生の授業で、先生の父親である池田義三さんの体験について話を聞き、授業で習うこととはまた違うおそろしさを知りました。

当時広島にいた人達が同じような体験をしていたのだと考えると、驚きました。原爆の放射能による後遺症に今でも苦しむ人がいるということを知り、人間をずっと苦しめ続ける原爆の残酷さを他の爆弾より感じました。

唯一原爆という核兵器による攻撃を受けた国である日本は、核兵器のおそろしさを伝えられる人が少なく存しているということに危機感を感じました。

第二次世界大戦中に開発された原爆の数倍の威力を持つ核兵器が今この世界に存在しているということがどれほど危険であるかということを知ることができ、よかったです。思います。

核兵器による犠牲者をこれ以上増やさないと、に、被爆した人達の体験を聞くことは大切だと思いました。

6-2 マスケ 壮太

池田 さんへ

今回、原爆の話や、その説明など  
さまざまなことをおしえて  
くれてありがとうございます。

たとえば、言志の内容はお父さんが  
体験した言志を聞かせて  
くれてありがとうございます。また

B29が落したその原爆の説明  
や、爆発の仕方、死体のでき  
かた、主要都市の爆撃など  
さまざまなことをおしえてくれたり

そのお父さんからきいた当時  
の言志や、広島平和記念館の  
ときの感想を言ってくれて  
ありがとうございます。そして、  
この話をしてくれて

戦争をするとはこれだけか

く大変だったが、改めて

わかりました。

6-2 増田光右人

池田 眞徳 先生へ

今回は、厳しい原爆の話そ

分かりやすく、教えていただき

ありがとうございました。

そのころは、「1才になると、軍隊に

入らなければいけない」というとて

も大変な事態だったんだと知らため

に分かりました。

原爆のくわしいことや原爆を

投下した飛行機「エノラゲイ」

の情報をたくさん教えていただき

ありがとうございました。

原爆の、いかに、熱線、衝撃波、

放射線全てが出て来ると思うと、恐ろ

しくて、ふるえがとまりません。

今回は、きょうな体験をありが

たうございました

6-2 松山 陽介



池田先生へ

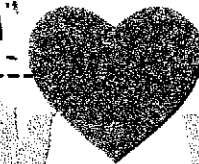
今回は原爆のことについて教えて  
もらいました。ぼくたちは原爆の  
じくみやくわしいことなどは、全  
くしらないけど一つだけ知って  
いることがあります。それはおそ  
ろしいということです。でもその  
原爆はおそろしいといった次げ  
んではなく、この世にあっては  
ならない物だ"と思います。また  
太陽ぐらゐあつゐ3000℃の高  
温をあびてさぞかし苦しか  
ただろうな"と思いました。これ  
からはこのようなかゝ爆た"んは  
つくってほしくないです。今  
回は爆原のことくわしく  
教えてくれてありが"とう  
ございました。水村日虹



池田 眞徳 先生へ

だんだん肌寒い日が続くようになり  
ました。いかがお過ごしでしょうか。とこ  
ろで今回は原爆についてこまかく分か  
りやすく説明して頂き、本当にありがとうご  
ざいました。そこで、原子爆弾投下都市  
の条件は直径5kmをこえていて、平野で  
あり、空しうがなかったという3つの条件が  
必要であることを学びました。また、衝力ダ  
キ波の速さが毎秒440mで、これは  
音速より少し速いスピードであることが分  
かりました。この学習から、原爆はとても  
怖くて恐いものだと知りました。だから  
私は原子爆弾が投下されないこと  
を願っています。

肌寒い日が続きますか  
かぜをひかないように  
気を付けてお過ごし下さ



6-2

宮内 杏菜

池田 貞徳 先生へ

だんだん寒くなってきました。先日は  
ありがとうございます。ぼくは  
池田さんに原爆のことを教えてくれる  
前はどれほどこあく、おそろしい物かはわか

りませんでした。でも教えてもら、たので  
原爆の周りの熱さが7000℃で太陽の表面  
温度より熱くてびっくりしました。また、中心

温度が100万℃で、ゴルフボール1個のウラレでできる  
のでこれを打た人はこれほどまでびっくりしてい  
るのは予想していなか、たと思います。でもエノラ

・ゲイを千ペットがもてきてとうかして、エノラ・ゲイという  
名前をきまからとるというのはおかしいと思いました。

今の力では原爆の1000倍の力ができるといふことがわ  
かりそうなのはやめてほしいと思いました。

原爆のことについていろいろと

教えていただきありがとうございます。

6-2 宮澤 治希

池田 眞徳さんへ

今回は、私達 6年生に原爆について、池田義三さんが体験した9日間について教えてくださいましてありがとうございました。

私は、今回の授業で改めて、戦争はいやだ!と思いました。

原爆で、亡くなった人原爆病で苦しんでいる人がたくさんいますが、

広島、長崎に投下された原爆よりも、今は技術が発展し、より強

かな原爆ができてしまいます。そのため、もっと亡くなる方や原爆病のよう

な重い病気にかかる人も増えます。私はその事を恐しく感じます。

今回の授業で原爆は多くの人を殺した怖い物だと分かりましたが、

実体験は、もっと怖い物だと言っていました。その、私達が想像するのより

も怖い原爆のもっと強かな爆弾が作れてしまうと思うだけで、恐ろし

く手足がふるえるようです。そして、今回の授業で、なんの罪のない14万人

もの人々が原爆によって、もがき苦しみながら、痛さと熱さの苦しさにたえな

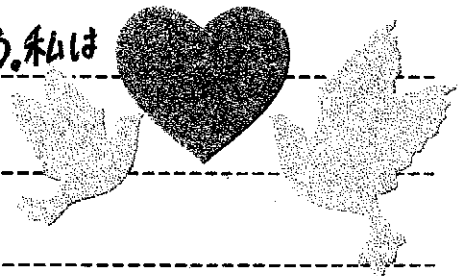
がら、亡くなっていったと思うと悲しく、涙が流れ出て来ました。もう、

今は戦争をしようという人は、いないでしょう。いたとしても、日本国民

は必ず、反対をし、戦争をさせないでしょう。私は

そう願います。

松沢小学校 6年2組 美山 いこい





池田真徳先生へ

先日は貴重なお話をありがとうございました。

私が先生のお話の中で一番印象に残ったのは、

どの具体的な数字でもなく、広島に投下された

「リトル・ボーイ」の1000倍もの威力を持つ核爆弾

を保有している国がいくつもあるということです。

話を聞けば聞くほど戦争のおそろしさを感じ、絶

体に戦争をしてはならないという思いがつのりました

が、それはただ私達が後世に伝えていくだけの出

来事ではなく自分達が気づけなければいけない

ことにしよう激を受けました。

もちろん、国の将来を支えていくようになる私達子ども

が戦争の事実を伝えていかないことには何も始

まらないので、どんなに辛い過去でも、目を背けず

受け止めてこれからを生きていこうと思います。

戦争で、今も苦しんでいる人がいる。

精一杯それを伝えていかねばいけない

ことを胸に留めておきたいです。

6-2 宗像里佳

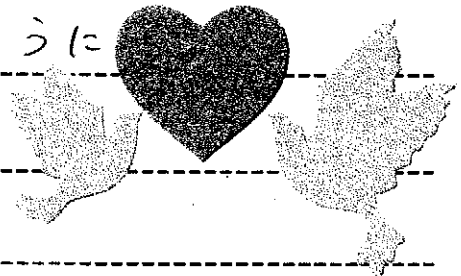


NPの法人原爆先生 池田真徳先生へ

今回は私達のために原爆の話をしていただき、ありがとうございます。今回のお話で、本や教科書だけではわからないことを知ることが出来ました。

原爆が投下された時の「ピカッ」とした音や、衝撃波が建物にあたって建物がくずれていく音など、このような体験でしか聞けない音だと思います。

原爆投下後に被爆して「兵隊さん、助け」と助けを求める市民をトラックにのせようとして手を差し伸べても、焼けただれたひびがずる。とはがれてしまう面を目の前で見た池田さんのお父さんは、とてもつらかったと思います。投下後は死体をもちしたりする仕事はとてもつらいと思いました。私はこの体験を通して平和は大事だと思いました。私も身近な親せきに池田さんに聞いたお話を伝えて、原爆の恐ろしさと平和の大切さを伝えるようにしたいです。



6-2. 池田真唯

池田 さんへ

先日は、松沢小学校で、特別授業を行っていただき  
ありがとうございました。今回の特別授業で  
アメリカがおとした原爆の威力がどれだけ  
強かったかを感じました。日本では、8月に、川内原発の  
活動が開始しました。これは、いけないこと  
だと思います。なぜなら、東日本大震災で原発  
がおかくなって放射能をばらまいてしまった  
のに、また同じことをくり返そうとしていると感  
じました。基準に達しているとはいっても、  
その基準は想像できない災害が起きたとさ  
えられるかが分からないと思います。だから、  
原発を動かすのをやめるべきです。原発を  
動かすのに、賛成なのは、原発に関係する人や  
原発に関係する建物も建築したりしたから  
だと思います。だから、危険な  
ことや過去に人々へ害があること  
は、やめるべきだと思います。

6年2組 横川 侑香

池田先生へ

授業、ありがとうございました。原爆や、当時の広島のこと、よくわかりました。なんと言ってもはいけないかもしれませんが、とてもわかりやすかったです。

僕はそんなに原爆や当時のことを意識してきませんでした。が、実際に体験し、その目で見て来た人の言葉を聞いて、心を重くされました。それがどんなに酷く辛いものだったかは想像もできませんが、少しでもこのことを知っておいてよかったです。と思います。

僕が一番驚いたのは、「今は当時の1000倍も強大な原子爆弾を持っている国がいくつもある」ということです。

こんなものを使って世界が戦争を始めたらと思うとゾッとします。このような話を聞くと、やはり唯一の原爆の被害国である日本が後世に「原子爆弾はもう二度と絶対に使ってはならない」と伝えていかなければならないとより一層意識します。これからも、この日のことは忘れないでいようと思います。

本当にありがとうございました。

松沢小学校6年2組 吉田純平

原爆先生へ

このお話をきいてぼくは  
原爆とは怖いものなんだなということ  
改めて実感させられました。

そして原爆が落とされてしまう

原因としては、他国との対立や

争いからくるものだと思うので、

まずは他国との戦争をしないことが

大事だと思いました。しかし現在の

日本は安保法案をみとめてしまったり

イスラム国がテロをおこなったりと

残念なことがおこっていますが

それ以上戦争に近づけないことが

はくたちの使命なのかなと思いました。

今日は一日、90分もの長い間原爆

めことについて教えて

くださりありがとうございました。



6-2 渡辺 紳

池田 眞徳先生

今回 原爆の話をして原爆の事を  
教えてありがとうございます。

原爆の画や動画とてもひさ  
々な事によったのを見てとても原  
爆は使はみいではしいです。それに

1000倍の原爆を色々な国がも  
っていると書いたので戦争をして

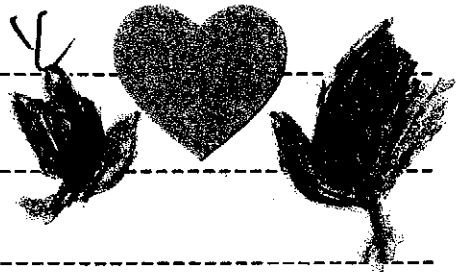
原爆をおとせば日本はなくな  
ってほうのので戦争をしないで

はしいです原爆で生きている  
もほうのうで死んでしま

かもしか ないのでほん  
とに原爆をおとしてほしく

なさいです色々な事をおし  
ておと、ありがとうございます。

うございしました。



松沢6年3組 今井恵太

池田 眞徳先生へ

今回このような学べるきがいを作、ていたたきありが  
とうございませう。戦争かどんだけ意味のないこと  
だということが分かりました。日本に利があ、ても  
原火暴なとて人かどんて人死んでいくなとていうのは  
はその利益でさえ消えていくのは戦争する必要が  
ないと思ひませう。また、アメリカが侵、た原火暴の中  
に入、てくるウランの弓強さ1kgしか入、ていなく  
ウランだけで広島がなにもない世界に変わ  
、てしま、た。そんな道具を使、てまで戦争に  
力をかえるのは、本当に意味のないことだと思ひ  
ました。ほくは、今回戦争の無意味な事を  
知りました。いろいろな人が意味の無いのに死  
んでいく戦争には反対です。ほくは、今回の話を  
聞いてこの世界から戦争というものが一つも消  
えて無くなればいいと思ひました。このよ  
うな今の小学生は知らない過去の日本  
について教、えてくださりありがとう  
ございませう。

松沢小学校 吉澤 祐樹より

池田 眞徳 先生へ

今回、うらい出来事を、僕達に話しに来て下さりありがとうございます。

今回の講習で、自分にはあまり関係がないものだと感じていた原子爆弾についてをくちくち知ることができ、原子爆弾が及ぼす多大な被害から、もう二度とこのような刻兵器、そして戦争を繰り返してはいけなと強く痛感しました。先の大戦の為に、食料難などによりうゑや病に苦しめ亡くなられた方々、関係のない民間人へのたゞさんの犠牲、将来ある若者の命、一人ひとりに人生を以て慕、仲間、友人、愛する家族があたはずなのに一瞬にしてそれを失ってしまった苦痛と損害、尊い

犠牲生の上に今の平和が

あることをよく認識松沢小学校 野村俊成  
しなければと思いました。



# 池田 先生

今日は、原爆、核兵器のおそろしさや、お父様の体験談をお話してください、言成にありがとうございます。今回の講演でいかに戦争をしてはならないかや、戦争がいかにつらかったかがわかりました。特に、お父様の体験談を語るくださる時は非常につらかったと思いますが、語り、くださった時に人々の遺体を運ぶ時のつらさ、目を見てやりたいが目が見られなかった人々のくやしさを感じていたお父様の気持ちがあかりました。また最後のビデオでは、現場にいたお父様が見た光景がどれほどくるしか、たか、当時のことを思い出したくなかったということがわかりました。

これからは、唯一の被爆国として戦争はいけないと伝えていきたいです。



6年3組 浦里予純太

池田 眞徳先生

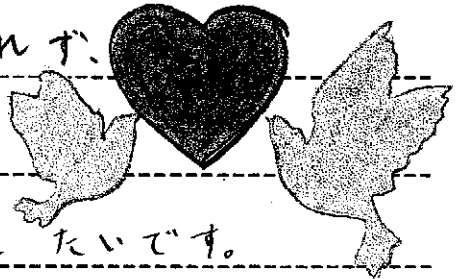
今日は、私達に戦争のお話をして下さい、ありがとうございました。

実際にお話を聞くことで、原爆のいかに強さや、その周辺の人々の様子など、とてもみなさんなこう景だったことが分かり、またそれが、戦争時の日本で実際に起こったことだと思えば、意外と身近に感じ、大きなショックを感じました。

このことから、国、人間の欲望のためにもこんなにも過激な戦争はやってはいけないと思います、現在の、平和な世の中に生まれた私達は幸せだと思います。こんな私達とは反対に、世界には、現在も、昔の日本のように、戦争に苦しんでいる、人達が沢山いるということも忘れず、平和なことに感謝して、

1日1日を大切に生きていきたいです。

松沢小学校 6年3組 岩本 璃々



# 池田先生へ

今回は原爆のことについて話してもらい、あ

りがとうございしました。原爆の話を知

っていると人がーっしゅんで消えててくったり、大やけ

をして皮膚ががらガラになったりなど原爆のことは

被爆者だけにしかわからないうふうがあると

思いました。話をきいては昔は今にならなくても

おそろいことがあつとわかり、昔の人はそうとう

苦しんだと思えます。原爆が落ちていた時

に生きていた人も死体がらばらけ、太陽

より熱い熱があつたのでもう言葉にあつたせまい

くらいとてつらかったことがわかりました。

池田義三のDVDを見て、やっぱり原爆のことを思い

出すのはつらいことがわかりました。

今回被爆者の池田さんに原爆の話をもたせ

ていただきありがとうございます。

は、これがあつた

と忘れはれないうことがわかりました。



6-3 山田 有羽 大より

池田真徳 先生へ

先日は、原爆の講演、ありがとうございました。  
実体験を綴られた本では、教科書などでは味わ  
えない、原爆の生々しい恐ろしさがよく伝わってき  
ました。

僕は池田さんのお話を聞いて、二つのことを思  
いました。一つ目は、なぜ原爆が落とされたのか  
ということです。もちろん、戦争を仕掛けた日本に  
も責任はありますが、多くの人々を心身ともに苦し  
めた原爆を投下したことは、僕はよいこととは  
思えません。二つ目は、このような核兵器を、僕  
たちは世界から取り除かなければならないと  
いうことです。もう二度と、こんな惨劇を起こしては  
なりません。また、個人的にも変わったことがあります。  
今まで広島という町を、僕は重苦しくて、嫌だと思  
っていました。しかし、今回のお話で、  
過去を受け止め、未来へつなげ  
ていこうと強く決心しました。

松沢小学校六年三組 津田 遼人

池田 真徳先生へ

先日は、原爆についてくわしく教えて下さりありがとうございました。

ごさいました。これは質問なのですが、なぜ機長のチ

ベットはなぜ飛行機の名前を母の名前にしたのかとい

うことです。あんなにまろしい牛乳に母の名前

をつけるということは、とてモ母がこわがたのでしよ

うか。それとモ母にあこがれて、その名前にしたのでしよ

うか。特に理由がないのに母の名前をつける。と

いうことはないはずなので、何しろ王理由があ

たのだと思います。これは予想外なのですがエ)ラゲ

イ(母)からリトルボーイ(少年)が落とされた。というこ

とは自分(チベット)は母(エ)ラゲイ)から生まれた。

というこを伝えたいか、たのでしょうか。少年とは

チベットだったのではないでしょうか。とまたまた

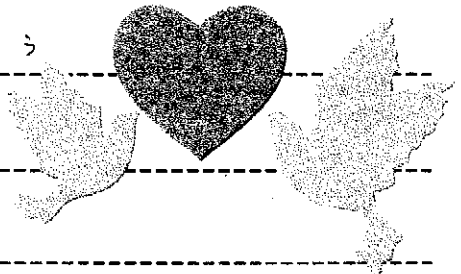
聞きたいことがあります。最後の60kgの中

の1kgしか火薬をなめたという

事ですが1kg火薬をなめただけ。

あのようなことになるといふこと

を矢張り、よりいっそうこわがらましました。このようなことを  
防ぐためにはモコ木からの未来を憂えていけたらいいなと思ひました。 うさ→



池田 貞徳 先生へ

このたびは、お急がしい中私達に講習をしてくださり、ありがとうございます。原爆はとてもおそろしいものがあると、いう認識は前からありましたが、今日の講習で改めて原爆のはかい力とおそろしさを感しました。また、原爆や空襲など、無差別に人の命をうばう、戦争に恐怖を感じました。

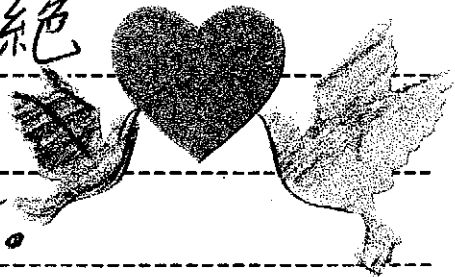
今、世界各地で国際紛争がおこっています。その紛争をしている人、に、今回のことを全て話したいという思いがこみあげてきました。

やはり、戦争はおそろしいものです。そのおそろしさを伝えたいのが、この時代には生きる私達の役なのではないかと、心に刻み、今生きていられる時間を大切にしたいと思いました。今日は本当にありがとうございます。

松沢小学校6年3組 五十嵐 智彦

池田 眞徳先生

この間は原爆のいかにおそろしさを教えて下さり本当にありがとうございました。私も一年生のころ、広島に行って原爆資料館をみたのですが、展示されていたあの人形がとにかくおそろしく家へ帰ってもその姿が思い出されておむね木ずりにいたのにそれか「きれいすぎる」なんて本当にショックでした。そしてそこまで戦争と原爆は人の姿も一生も何もかもを狂わせてしまうということもしょうげきでした。人間が人間で無くなってしまふのにそんなおそろしいことを今でもやっている、やろうとしている国と人がいることも本当におかしい異常なことだと思いました。戦うこと以外にわかり合う方法が無いわけなんてないのになぜ戦争をするのでしょうか。私は絶対に武器を持たず、そして子どもにも持たせないようにします。



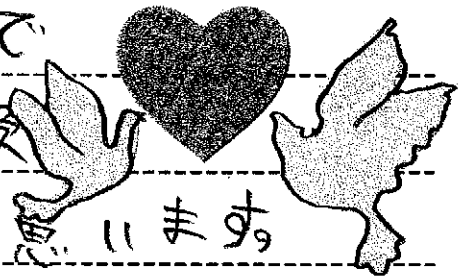
松沢小学校 6年3組 神野まりな

池田

眞徳 先生へ

僕は先生に原爆のおそろしさを感じました。  
そして、原爆ドームはそのおそろしさを永遠  
に語りつぐためにあると思いました。

僕は先生の話を聞いて一番最初に感  
じたのは悔やしさです。なぜ、被爆者の  
方々はなぜ死んでしまったのだろうと  
思いました。そして、池田先生のお  
父さんの話を聞いた時、トラックに乗ろう  
としても皮ふがはがれてトラックの荷台に  
乗れない。その荷台乗ろうとしていた人  
は「生きたい... 生きたい」と心の中で叫  
びていたと思います。池田先生のお父さ  
人は、本当に悔やしかったと思いま  
す。命は、この世で一番すばらしいも  
のだと思います。なので  
僕は、池田先生のお話を  
聞いて、未来の人に伝えたいと思いま  
す。



松沢小学校

6年 3組

稲村 幸光



# 池田眞徳先生

私は、先生のお話を聞いて、様々なことを学びました。普段、私は原爆のことについて、あまり考える機会がなかったのですが、先生の授業を聞いて、原爆のことにし、かりと向き合、ていくことの大切さを学びました。また、私は、先生の授業を受けて、原爆による被害の大きさを知り、これからは、絶対に使うべきではないものだと思います。そして、私が先生の授業で最もおどろいたことは、世界の国々の中で、原爆よりも被害の大きい爆弾を持っている国がいることです。世界中の国が日本の原爆での被害の大きさを知っているのに、それよりもさらに強い爆弾を持っていることにおどろきをかくせません。これからは、原爆のことをし、かりと次世代に伝えていくべきだと思います。

松沢小学校 6年3組 石村紗弥乃

池田真徳先生へ

私は今日、戦争、原爆の悲惨さを

知りました。といっても本当の原爆の

悲惨さは私が思っているよりも、もっと

過こくであるのだと、言葉や絵では

表せないほどのものであると先生の

お父さん義三さんの言葉から身に

しみてきました。私は広島原爆の

本を読んだことがあったけど、本な

んかよりずっとずっと大変だったと知

り、ふるえがとまりませんでした。その

本も悲惨なことがあったけど、もっと

もっとつらい思いをしていたんだ、

と思うと涙が止まらなかつたです。

私は来年、広島に行ってみよう

と思います。東京じゃわから

ない「なにか」が

わかるかもしれないから。

松沢小学校

小林 南美

池田先生へ

今回はこのような機会を設けてくれてありがとうございます。うございませ。今日のお話で命の尊さがものすごく実感されました。原子爆弾は人をこんなにもある力があり一瞬で都市を破かいする力をもっていてとてもこの世にはいられないようなものだと思いました。候神になった者味で京都が入っていたけれどアメリカ軍も貴重な文化財があるから攻めなからたといふとは、アメリカ軍もこういう心があるなら本当は投下したくないのではないかなと思いました。最後にお父さまが「キレイすぎる」という言葉はとても印象的でした。なぜならそれほど戦争の方がすごかったという事が強く伝わったからで。お今回のお話しでわかったことは国際紛争はよくないにすぎない。お勝ってもなんのメリットもないと思うので、そう思いました。

これから平和を大切にしていきます。

松沢小学校 6年3組 川上士雄

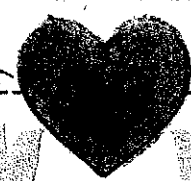
★池田眞徳先生へ★

今回、広島県と長崎県に落とされた原爆の  
ことお話しして池田さんのお父さんが実際に  
体験したことを教えてくれてありがとうございました。

私は原爆が長崎と広島におとされたのは  
知っていました。

しかし、原爆の中に入っている物の  
名前などはまったく知らず教えてもらい  
てもおどろきました。

私は、一番おどろいたのは、太陽よりも高い温  
度7000℃と知って、原爆を経験した人の  
ようぶ、かどだけかを知りました。

ゴルフボール1つ分の熱を知って全部がもし  
なっていたら生存者として広島県がなくなっ  
てしまうと思うととてもゾッとしま  
した。

お父さんのつらい経験を教えてくれてありがとう。ござい  
ました。

6年3組 冨永真央

池田貞徳先生へ

原はくのおそろしさがわかりました。ありがとうございました。ごさいました。どのような作りでどれだけのほかにかあつたのかわかりました。ぼくは原はくがすごい力のあることはしていましたが、どれだけの人がなくなつたか知りませんでした。ぼくはこのことは日本がいけなかつたと思います。戦争で国を平和にすることはできない。そのことをこの原はくでわかつたとおもいます。戦争をはじめたらとまはせん。やられたからやめなす。勝負たからつぎもいける。そのようなことからぼくは戦争をえなけれは、多くの人口は減るしむことかたふとなふた。たりもしないのてなうほうかいいと思ひます。このようなくるい体馬更言古すことかちうかたとおもひます。それをきいたぼくはどかただけ大變なことがわかりました。ありがとうごさいます。これからの時代戦争かたなうにしたいです。今日はありがとうございました。

木公沢小学校6年3組 塩川直人

池田眞徳 先生へ

今日話していただいたことは大変貴重なものだと思います。僕は、この経験で色々な面において少し成長することができました。今まで、学校の国語の授業などでも原子爆弾の被害に合った人の話を聞いたことはありました。しかし、文章を通してだと人々が本当はどんな気持ちだったのか、どれだけおそろしく感じたのかは伝わりにくくな。こいまして、先生が今回お父様の思いを受け継いで下さったことで「本当の思い」というものを僕も感じる事ができました。これからは、ますます被害者の話を聞くと実際のことを知るのには難しくなるでしょう。また、被害者にはなかなか分からないこともあるでしょう。その中で次の世代にどう伝えるか僕もこれからは考えたいです。

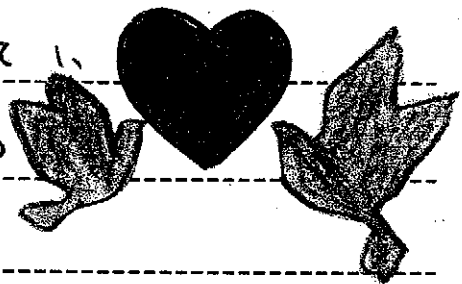
松沢小学校六年 坂田 光之輔

池田 眞 徳 先生

今日は、原爆の貴重なお話をありがとうございました。原爆のお話を聞いて、とてもかわいそうだなと思いました。広島県にいたただけで、死んでしまったり、傷をおったり、家族とはなれてしまったりと、いろいろと大変な目にあっていくことがわかりました。

また、先生がお話をして下さった中で、一番印象に残ったのは、ゴルフボールぐらいの大きさ・1kgのウランで広島県の町を破かいしたのがすごいと思いました。本当は、60kgのウランを落とせば、どれぐらいまで町を破かいしていたのか疑問に思いました。

今回のお話を生かしていきたいです。ありがとうございました。



松沢小学校6年3組 小山 蘭

池田 眞徳 先生へ

今回の講演で、私たちに戦争に行  
った人にしか分からないことを教えて  
くださり、ありがとうございました。  
池田先生のお父様が原子爆くだ  
んが投下された時やあとの気持  
ちが、せんめいに伝わってきました。お  
父様は平和資料館に行かれた時、  
人の皮ふ、かまけている模型を見て、「き  
れいすぎる」とおっしゃったのは、本物は  
も、とひさんで、人とは思えないくらい  
だ。たんだなと思いました。最後に見  
たお父様の演ぞうを見て、本当に戦争  
はおそろしく、それは私たちが思ってい  
ることよりもひさんで2度と起こってほ  
しくないことだと感じ、なみだが出  
ました。講演を聞いて、戦  
争に対する考えが変わりました。

松沢小学校6年3組上原 寿子



池田真徳先生へ

今日は私たちのために松沢小学校に来て下さり  
ありがとうございました。戦争のお話はあまり  
聞けることではないので今回はとても貴重な体  
験でした。お話しして下さった中で『リトルボーイ』  
に「ウラニ」が60kgも積まれていると聞いてゾッ  
としました。また、1kgが「ゴルフボールほど」の大きさだ  
ということはとてもビックリしました。そして最後に池  
田さんのお父様が戦争のお話をしていたビデ  
オの中で途中から涙を流しながらしゃべってい  
たところがありました。私はとても思い出したい  
とは思わないくらい過ぎた。たと改めて分かり  
ました。被爆者の様子、町の様子、私は実際に見  
てはいないけど、お話を聞けたけども当時、とれた  
け悲しくて、つらいことだ。たのめ分かりました。  
これから授業で戦争のことを  
考えることがあるかもしれない  
けど、今回のお話をわすれない  
ようにしたいです。ありがとうございました。

松沢小学校 6年3組 深山陽生

池田先生へ

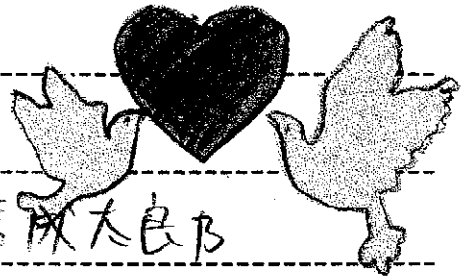
本日は原はくについて話していただき、ありがとうございました。

原はくのかは想像以上に強く感じました。はく突いたウランは60kg中1kgだけなのにこんなに被害があったのでびっくりしました。中でも一番心に残ったのが人間じやない人間のことです。はく者かとても苦しんでいるところか心にズキッと刺りました。

また、学校で習っていることをたくさん知ることができて良かったです。今日は松沢小に来てくれてありがとうございました。

2015.12.4

松沢小学校6-3 ジョバツラ 言成太郎



池田 眞徳先生へ

今回は、わたしたちのために原爆のことを教えて下さってあり  
がありがとうございました。原爆の恐ろしさがよく分かりました。

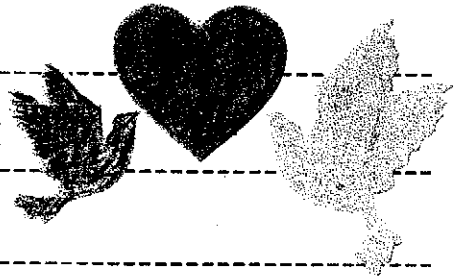
わたしはお話の途中で気分が悪くなってしまいました。お話を  
を全て聞くことが出来なくてごめんなさい。ですが、それくらい  
ひどいことが起こったんだと感じました。

これまでは、原爆のことをあまり知らなか。たけれど、勉強し  
ていく必要があると考えました。原爆について聞く機会が  
あって、原爆の悲惨さを理解した今だから考えられること  
なんだと思います。わたしはこの気持ちをも大切に戦争の学  
習をしていきたいです。戦争の体馬実者がどんどん減って  
いる中で、戦争の記憶を未来に伝えていくことはとても大切  
だと思いました。

少し昔に戦争があったということを信じられなかつたけれ  
ど、今回の授業から戦争のことを忘れないようにしてい  
きたいと思いました。

戦争は、いけないんだということを改  
めて実感させていただき、本当にあり  
かありがとうございました。

松公沢小学校 6年3組 織田 夏希



池田眞徳先生へ

今回のお話で私はとても心を打たれました。助けを求めながら、目の前で亡くなっていく人々、人間にも見えないような犠牲者たちを見て、しかも助けられない、というのは、とても辛いことだと感じました。お話の中の体験で、私は、原子爆弾はとても「わるいものだ」とあらためてわかりました。でも、「ニわり」などと言えないうちに亡くなってしまった人々がいるとわかり、「ニわり」という一言ではあらわせないようなものなのかと思いました。

今、戦争、紛争が起きている国々、核兵器を持っている国々がたくさんいるのだから、日本に起きたことのすさまじさを伝えればよいのだと思います。

「ルンボール」一個ほどのウランから広島、長崎の街中の人々を破壊し、その後70年にもわたり、放射能で苦しむ人も多くいるという事実は、知らない人も多くいるのかもしれませんが。私たちに、原爆のおそろしさを伝えていただき、ありがとうございます。

松沢小学校 俳句組 本橋亜美

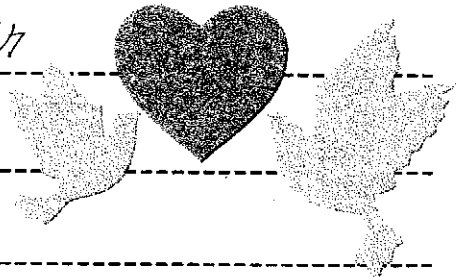
池田 真徳 先生へ

先日は、原子爆弾についての詳しいお話をしてくださり  
誠にありがとうございました。僕はお話を聞いていておどろいた  
ことがいくつかありました。一つは原子爆弾の威力についてです。一瞬  
のうちに身体中の水分が蒸発してしまっただけで、外出していた人々の  
むきだし。この一瞬で、数十万という命をうばった原子爆弾の  
恐ろしさを知ることができました。二つ目は、リトルボーイの燃  
料になったウランについてです。僕は、リトルボーイには60kgのウラ  
ンが詰められていたということを知りおどろきました。しかし、その  
ウランが60分の1の1kgという少量が使われたというのには更に  
おどろきました。この原爆の60倍ということ、広島は、壊滅的  
な被害を受けるはずで、少し話は変わりますが、義三さんの体験  
を通して、義三さんが平和資料館が発したという「きれいすぎる」の  
意味を理解できたのではないかと思います。この体験を通し  
て、今後、同じ様な事が起ころうとしている時には、今自  
分は、何をすべきかを考え、冷静に行動  
したいです。

松沢小学校

6年3組

中川 市 悟

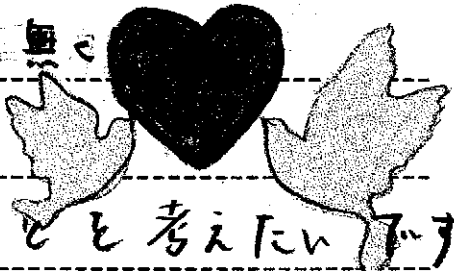


池田 直徳 先生へ

今回、先生のお話を聞いて、原爆とは一瞬で人の命を奪う恐ろしいものだと思いました。

原子爆弾投下都市の3つの条件で決められた広島が、ゴルフボール1つほどの爆弾で破壊されたことを知り、おどろくと共に悲しみがこみ上げました。

また、義三さんのお話で、トラックの荷台に乗ろうとする人たちが、「助けて、助けて」と言っていたと話している時、涙が出ました。言葉で表せない原爆の脅威を改めて知りました。

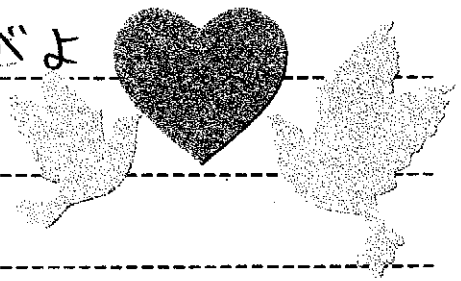
このようなことを二度と無いすために、原爆のことをよく知り、自分にできることを考えたいです。

松沢小学校 6年3組 小林 摩耶

今日、学習をしてまだ知らなかった世界が見  
えました。6000℃や7000℃という、普段あまり  
耳にしない温度をきいてとてもおどろいたし、想  
像しようと思っても想像できません。また、戦  
争や原爆のおそろしさは、博物館などで表現で  
きないことがよくわかりました。

私は、もちろん今日の話もきいて戦争を続  
けようとはしません。なぜなら、たくさんの人々  
を、また同じような事にしたくないからです。ま  
た、一人ひとりに戦争続けるか続けられないか  
聞いた言葉はちがっても「生きたい。」という  
気持ちは同じなのではないでしょうか。

私は、これから命を大切に、そして平和に生きて  
行きたいです。今日の学習で親子の関わりや  
戦争のおそろしさ、命の大切さがよ  
くわかりました。今日は本当に  
ありがとうございました。



松沢小学校 6年3組 林愛唯

池田 真徳 先生へ

今回の講演ありがとうございました。

実際に体験された話と、図などを一緒にして

話をしてくださったのでとても聞き取りやすかったです。

爆弾が投下される前のことから、投下された後

の行動などそして、その途中の話も含まれていた

のでわかりやすかったです。

私が一番印象に残ったことは、衝撃波が

音速よりも速かったということ、そして、世界

に、広島に投下されたよりもはるかに強い爆弾

があるという事です。今、この時代だから

平気と考えるのではなく、いつでもひなん

したりと、自分を守めるような行動がとれ

るようにしたいと思いました。

た。た1kgのウランで町をはかいしてしま

たのに、それより60kgのウランだ

たとしたら、ひかひかをうけ

ていた人や場所が増えたと思います。

松沢小学校 6年3組 渡部 亜都



池田 眞徳 先生へ

私は、原爆のことは、あまりくわしくなく、今回の話を聞いて、おどろくことがたくさんありました。また、私はえいぞうや写真を見るだけだと、「ああ、こんなことがあったな」と思うだけでしたが、実際の体験の話を聞いて、人言ではうませないと感じ、どれほどむさんで、どうしても、もう一度と戦争をやりたくないという気持ちが伝わってきました。しかし、私が思ったことは、アメリカ人は、ほんとはほんの少しだけ、良い心を持っていたのではないかと思います。なぜなら、原爆も京都においそななかったからです。ほんとうに「あく」にまっていたのなら、世界いさんや、文化いさんなどかんけいかなかったのではないかと思います。それでも、アメリカが日本に原爆をおとしたことにはかわりはないと思います。私は、そのときのむ爆者のことも考えながら生きています。今回は、貴重なお話をありがとうございました。本当にありがとうございます。

松沢小学校 6年 3組 大田原瑠璃より

池田眞徳先生へ

今日は、原爆のことを教えてくれて、ありがとうございました。

今回のお話で、戦争・原爆の本当のおそろしさを知ることが出来ました。私が今回、一番おどろいた事は、1kgのウランの強さです。

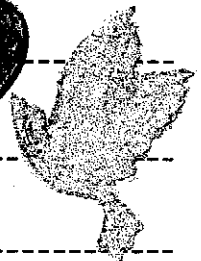
たったゴルフボール1つくらいの大きさのウランが、いっしょんにして広島町の町をはかいし、いっしょんで何十万人の命をうばったという現実には本当におどろきました。

今回、池田先生のお話を聞いてみて、戦争がない平和な日本をつくり続けるために、私達は今回のお話をしっかり理解し、次の世代へと伝えていかなくてはいけないと感じました。

戦争の怖さ、残酷さがよく分かりました。

今回は貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

6年3組 渡邊麻侑子



## 池田貞徳先生へ

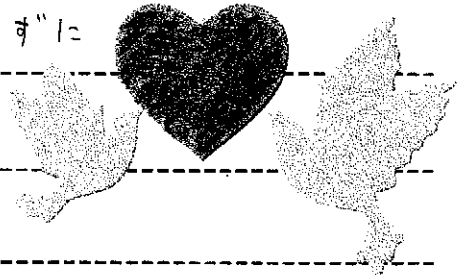
今回は講習授業をありがとうございました。僕はこれまで、広島と長崎に原爆が落とされたという事は知っていたけれど、原爆というものがこれほどにたくさんの方の命や物をうばったとは知りませんでした。今日は原爆についての知識も増えましたが、同時に原爆のおそろしさも学びました。

自分が昔、たり住んだりしていた町が一瞬にして火の海となりなくなりました。たのを見た人は、悲しいとかさびしいとかを言葉では表わせないような気持ちになったのではないかと思います。

もう一つ心に残ったのは、広島や長崎に投下された原爆よりはるかに大きな被害を与える爆弾が世界中にあるということです。広島、長崎であった

事実を二度とくり返さないうようにするためには今回学んだ原爆のおそろしさやそれによって亡くなった人々がいるということを忘れずに生活をしていきたいです。

松沢小学校 内山 嶺太郎



池田 貞徳先生へ

いそがしい中わざわざ戦争の事を話しに来てくださりありがとうございます。私が戦争の話を聞いて一番おどろいたのは、ウラン原爆のウランの量は1kgだったという事と、その1kgの大きさがゴルフボールくらいだという事におどろきました。です。リトルボーイのウランの量は60kgでその時の核分裂がまだ発達していなかった、ので60kgすべては使いきる事ができなかつた事がわかりました。もしもこのリトルボーイのすべてのウラン60kgをつかいていたらもっと大変な事になっていたのではないかと思うと、とてもこわく鳥肌がたちました。原爆は、中心100万℃外は7000℃で直径200mの物があり、太陽の表面温度は6000℃なので太陽よりもあつい事にとってもおどろきました。私の中で一番あついと言ったのは太陽だったのでそれ以上の物があることを知る事ができました。なのでとても勉強になりました。

松沢小学校 6年3組 松井悠乃

池田 眞徳先生へ

原火暴の話しを聞いて、今まで知っていたこと  
もあらためて、おどろきました。そして、原子  
爆弾のおそろしさや知識などを知ることが  
できました。それは、直径5kmをこえ、  
平野であり、かつまだ空襲をしていない都市と  
いうことなどの条件で広島や長崎が選ばれて  
しま。たことや原子爆弾が爆発したときの中  
心部の温度は約100万度(まわり)は、約7  
000度で太陽の温度は6000度ということ  
で太陽の温度の166.6...倍もあるということお  
どろきました。また、燃料であるウランの60  
kgあるうち、1kgを燃焼しただけで24万  
人の被爆者のうち10万人がおせくなりになり、そ  
のなかで2万人がいっしょ人にして消しまうほとい  
のい力があることから、おそろし  
さを感じました。

杵沢小学校 6年3組 下東 曉人

池田 眞徳 先生へ

今日は僕達に戦争についてのお話を  
して下さい、ありがとうございました。

今まで、「原子爆弾」と聞いてもただおそろしい  
爆弾としてしか想像できませんでした。

今回の先生の詳しいお話で核兵器や戦争の

こわさが分かりました。僕達は幸いにもまだ  
戦争も体験していないので知らないことは

まだまだありますが、曾祖母も長崎で原子爆弾

にあっていて話を聞かせてくれることがあったら聞きた

いと思います。世界では、まだ核兵器を持っている

国や戦争が起きている国があると聞いたので、

大人になったら多くの人々に僕も戦争のおろかさも伝え

たいです。今日は僕達に貴重なお話をして下さい、

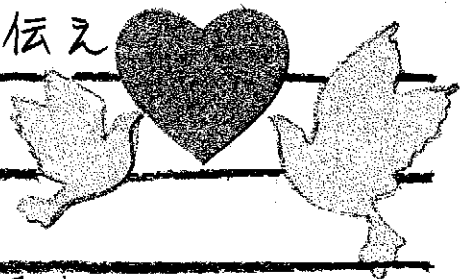
本当にありがとうございました。これからも多くの

人々に戦争と原子爆弾の過ちも伝え

ていて下さい。今日のお話は

いつまでも忘れません。

松沢小学校 6年3組 島袋 颯太

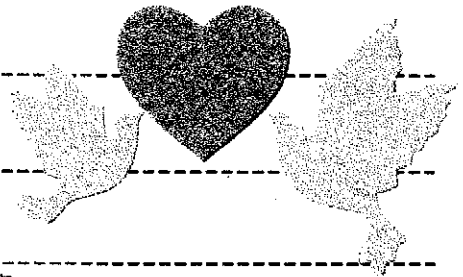


池田生先へ

今回、貴重なお話しを聞いていただき、本当に  
ありがとうございます。

ぼくが一番おどろいたことは、ぼくは  
後の温度が太陽よりも高いことです。  
なぜなら、遠くの方に、地球に光や  
日差しを届けているほど熱いのに、それ  
よりも熱いのはおどろいたからです。

ぼくが今回のお話しを聞いて思ったことは、  
今は原子爆弾よりもいっしょく強い兵器が  
あるので、前以上に戦争をしてはいけ  
ないと思いました。また、日本は原爆のむさくさ  
を知っている人がまだいると思うので、世界に  
そのむさくさを知らせ、原爆などの兵器の  
使用だけはやめさせなければ"と思いました。



6年3組 小林泰都

池田貞徳先生へ

今日は私たちのために出前授業をしてくださり、  
ありがとうございます。原爆実体験者のむすじさ  
んが来てくれて、よく分かりました。私がおどろいた箇所  
や、不思議に思ったことですが、原爆にウランが使われ  
ていた事、ウランのい力は知っていたものの、実感とし

てはピンと来ませんでした。でも原爆が1kgしか燃え  
ていないのにピンと行くとは、不思議に思ったこととしては  
あんなにすごい力な原爆ですが、なぜ「リトルボーイ」と

いう少年という意味の名前をつけたのでしょうか。

ビッグボーイとかライオンとかもっと強い名前とか思いうか

ばなか、たののでしょうか。日本がもしもくうしゅうでこうさんしていた

ら原爆は落とされなかつたし、日本が太平洋戦争など初めなけ

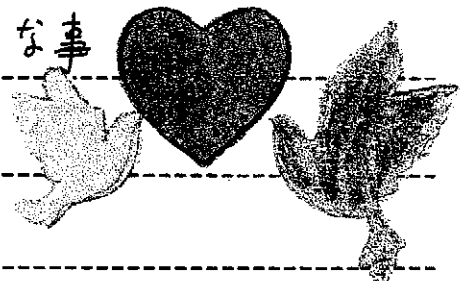
ればよかつたわけですね。それに京都をやめたちが良、という人がも

とたくさんいれば原爆とか東京大くうしゅうとか起こらなかつた

かもしれないと考えると、とても残こくな事

だと思っています。

松沢小学校 牛本幸知





# 池田 真徳先生へ

今回は木4のためにつらかったと思うのですがお話しいただき  
ありがとうございました。

木4は単戦争の時代いせんが話を聞いてどれだけ大変だったか  
つらかったなどがものすごくわかり系至馬喰していなくてもつらい気持  
ちになりました。単戦争がどれだけの事かがわかりました。

話をたまに聞きますがやはり家族がなくなるなどつらい事を系至  
経験しているとききました。

単戦争は誰のためにやる人だと思ひ、意味を考え将来平和にみんな  
幸せだったらいいなとあらためて感じました。

池田先生のお父本人の話をきいて本当に大変な事な人だなんて思  
えて心から単戦争はしたくないと思ひました。

ビデオをみている時と、話をきいている時、お父さんが「助けてと言  
われてという所から話をきくと想像してみると泣きそうになるくらい  
くそいって系至馬喰をさねちと考えてみたらぞらとして本当に戦争はあ

てはなうな、なと思ひました。今はないけど将来

の事を考えるのは難しいとは思ひますが、そ

うことがおきないようにしたいと思ひました。

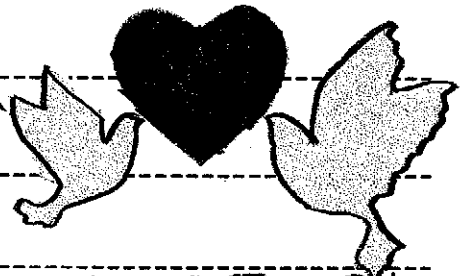


池田 眞徳 先生へ

今回は松沢小学校へ来ていただき、  
ありがとうございます。

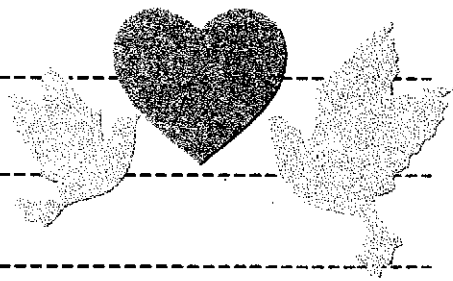
私は、池田先生のお話を聞いて、もっと  
戦争のことについて、きょう味を持つ  
ようになりました。そして、もっと知り  
たいと思うようになりました。又、原子  
爆弾についても、よく分かりました。  
爆弾のいかにおどろきました。ただ  
1kgだけのウラニウムしか熱しようさ  
れなかったのに、あれだけすごいこと  
になり、60kg すべてが熱しよう  
されたら、本当にすごいことになる  
ということがおどろきでした。かげの  
しみが残ったということも始めて知  
り、びっくりしました。

今回は、ありがとうございます。  
いました。

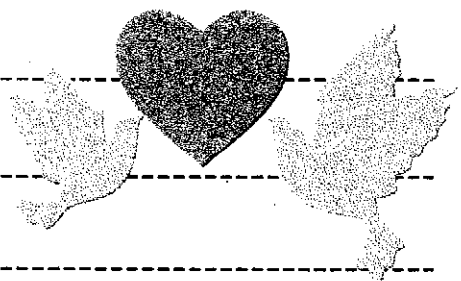


松沢小学校 6年3組 中原 明音

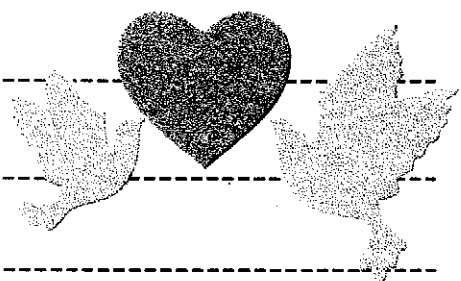
Handwriting practice lines consisting of 18 horizontal dashed lines.



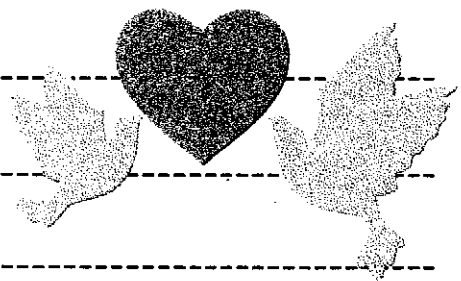
Handwriting practice lines consisting of 18 horizontal dashed lines.



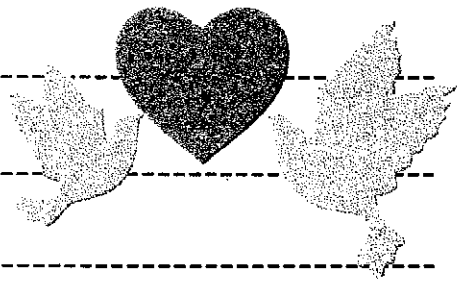
Handwriting practice lines consisting of 18 horizontal dashed lines on a white background.



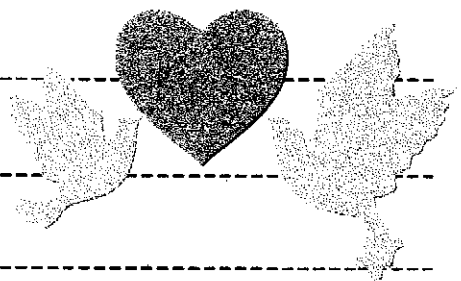
Handwriting practice lines consisting of 15 sets of three horizontal lines (top, middle, bottom) separated by gaps. The lines are dashed and span the width of the page.



Handwriting practice lines consisting of 18 horizontal dashed lines on a white background.



Handwriting practice lines consisting of 18 horizontal dashed lines on a white background.





池田先生へ

今回は、戦争のお話を聞かせてくれてありがとうございました。

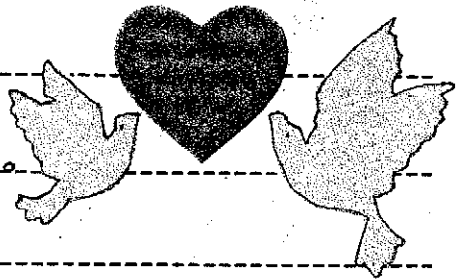
か、と緊張していて、戦争のおそろしさを思い知らされました。池田先生の話し方に迫りがあり、戦争のことがよく分かりました。

人を助けようと思っても、助けられないのは、とてもつらいことだと思いました。もう人が人ではないような姿と聞いて、想像もつきませんでした。

このようなことが70年前に、この日本で世界で起こったとは、思えないようなことでした。

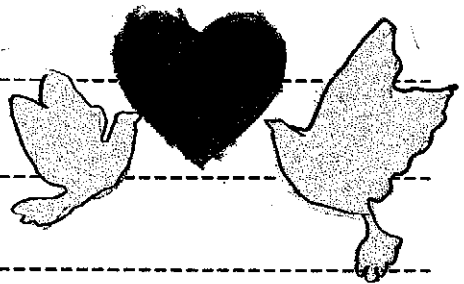
これからは、世界中が平和でみんなが笑顔で過ごせるようにしていきたいと思いました。たくさん問題があるけれど、全て話し合いできれいに解決すれば良いと思います。ありがとうございました。

6年4組 相場和音



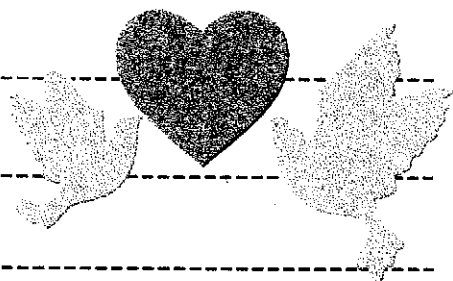
池田先生へ

ほくは、池田先生のお話を聞いて原爆のことについてさらにくわしく知ることができました。まず一つ目は、原爆にあたってしまった人は、ほくは、すべて手を上げていたと思っていたけれど、近くにいる水に入ったまわってしまった人たちは、またほかの死に方をしたということも一つは、原爆の強さです。ほくは原爆はとてもおそろしい物ということはおかっていたけれど、強さなどは知りませんでした。まずどういうことがあつたかというと原爆の外のあつさは、 $7000^{\circ}$ で中の温度は、100万度まで上がったということと原爆の衝撃波は、音よりも速く毎秒440mも進んで広島におちたということを知ることができました。このように



池田先生のお話でいまいちももって  
くちしく原爆について知ることができました。  
この間はとても勉強になりました。

6年4組青木健留



池田眞徳先生へ

今回、お話を下さり、誠にありがとうございました。お話の中では、とても怖い原子爆弾についてよく分かりました。ほくは、

このような原子爆弾をたくさん世界におとしたら、世界が壊滅するぐらいの威力であること

を知りました、また、池田先生のお父さんがとてもつらくて、涙を流している所では、僕も

原爆で死んでしまった人が、とてもかわいそうだと思います、だから、世界の各国にはもう核兵器を使わないでほしいと思います、たった1kgのウランで35万人のうち14万人

つかり、広島市民の40%の人の命をうばうので、世界中が悲しみます、その原爆の

おそろしさをおしえてくれた池田先生にそれを気づかせてくれたと思います。

今回お話を下さりありがとうございました。

ごさいました。

6-4 東優斗

池田先生

今回のことをき、かたに、戦争  
のおそろしさがよくわかりまし  
た。

私は話の中にでてきた今では当時  
の1000倍以上の力をもった銃がつく  
れるときいてぞっとしました。①の力  
でさえ多くの人が悲しみ、苦しみ、  
広島が町がやけどしてしまったとい  
うのに①①①の力があったらもう地球  
にとても大きなえいきぼうがある  
人だなと思ったからです。

自分が大人になったら二度と戦争を  
くりかえさない世の中にしていき  
たいと思いました。

まあその前にこれからずっと

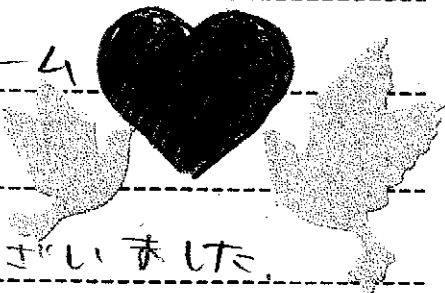
平和でありたいという

思いが大それたかと思いました。

有馬花枝

池田 眞徳 先生へ

原爆の恐しさ、戦時中の日本の今では考えられない光景等、貴重な義三さんの体験を語って下さり本当にありがとうございました。私は原爆が投下される都市の条件の中にもし、③の空襲がなかった都市 というのがなければ、東京も原爆を落とされていたかと思うと、ふるえが止まりません。又原爆についての説明の際「太陽よりも熱いものがスカイツリーくらいの高さから落ちてくる」と聞き、太陽よりも熱いものが見当もつかず、その時、大島長崎の人は光にっつまれて消えてしまったという話が現実にあるということは信じられませんでした。私は、アメリカの技術はとも高く、良く使えば、とても良いものをつくれるのに、悪く使ってしまうと、悲しいな状態を生み出すことを、アメリカの人たちは原爆ドーム



を見てしっかりと分かってほしい  
と思います。本当にありがとうございました。

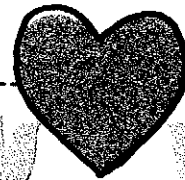
安藤 千紘

池田先生へ

この前は、松沢小学校に来て、  
お話をしてくださいありがとうございました。

お話を聞いて戦争はおそろしい  
ことと、原子爆弾のおそろしさが  
分かりました。原子爆弾は、人をい  
しゃんにして、亡くならせてしまうものな  
ので、もう二度と使ってはならないと  
思いました。かげのあじかのかのこる  
というのがしょうげきて"おそろ  
しい"と思いました。そして池田先  
生のお父さんが映像で映り、泣  
いていたことから、それほど"原子  
爆弾"はおそろしくしてこわいも  
のなんだと改めて思  
いました。

6-4 井口豪太



# 池田先生へ

今の私たちの生活、昔の苦しい生活のちがいがよく分かりました。

家の造りや食料など、負しかったのが分かりました。「ドカーン」って言われたときは本当に今きたの見たいにすごくこわかったです。

助けようとする気持ちはいいんだけど、エノラケイ(原ばく)をおとしたから、皮ふがすべる？

想像するだけでいやな感じがしました。

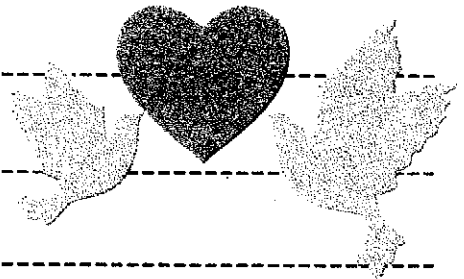
京都に落とせばいいのに、日本のことを考えてな馬いおとしたのはいいけど、一番はおとさないのがいいんだけどな。みんな、ないてる人が話しているといふことほも。と、人生で

一番いやなことがおきたんだなと見えました。

聞いている自分まで悲しみました。

ありがとうございました。

★池田 響 ぷり★





池田さんへ

今回お話を聞いて、戦争は、すごくこわいと思  
たためて思いました。池田さんがしんけんにお話し  
していたので、すごく伝って来ました。

一番こわいと思、たこは、地面近くの温が、  
3000℃と言う事で、くわいと思、う前に死ぬと  
思うとすごくこわいと思、いました。

またウランが60kgもねんしょうしたらと思、うと  
1kgもねんしょうしたただけでも、あんなのに...と思、

いました。これから、念のため、戦争のないよう  
にしたいので、また、今、このように生きてい

られることは、すごく幸せな事だと思、

思、いました。今回、来てもら、う、今まで、まったく

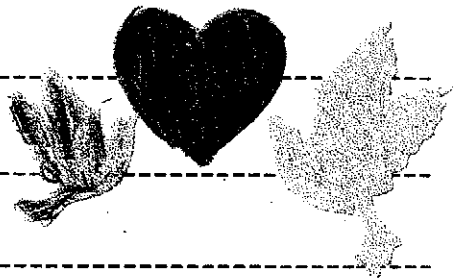
知らなかつた事があり、びっくりしました。戦争後

70年で、戦争の事を知っている人が少なく

な、う、生きているので、貴重な

体験もさせてくれてありが

うござい、ました。



6-4 今井 勝海

池田先生へ

先日は、貴重なお話をしてくださり、誠にありが

とうございました。先生のわかりやすい説明で、

原爆が投下されるまでのいきさつや、外国の思  
惑、そして人々の辛い生活などお身にしみ

て覚えました。また、義三さんのビデオから原爆

投下時の悲惨なでき事が頭に思い浮か

んだ時、昔の人はこんなに辛い思いをして

いたんだと感じました。今は平和で昔とは

ちかう。だからこそこの平和をもっと継続

させ、次世代の日本を担うぼくたちが気を

つけなければいけないと感じました。

今の生活に感謝しながら生きていき

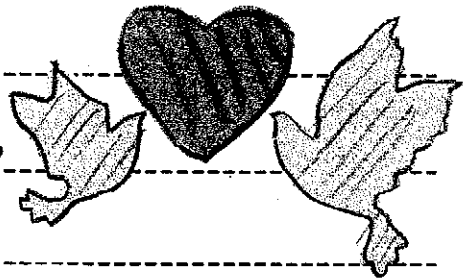
たいです。さらに、一人一人が平和に対する

思いをもっと強く持たなければいけな

いと思いました。池田先生、

本当にありがとうございました。

6-4 入江友規より



池田先生へ

この度は、このような貴重な時間をとっていただき、

本当にありがとうございました。

本当に原爆の怖さが伝わってきました。また、いまもなか、ほ

とんどの国の原爆以上のいかに爆弾をもってゐるという

現実におどろいています。もう二度とあのような怖い思いを

しないようにこの国の平和を守っていくのが私達の課

題ではないのかなと思います。

実際に体験していないのに、そのお話を聞きながら

想像をしてみてもその方が経験した恐怖が伝わっ

てきました。被害にあつた方の痛み、心の痛みが本当に

考えるとすごく胸が痛みます。

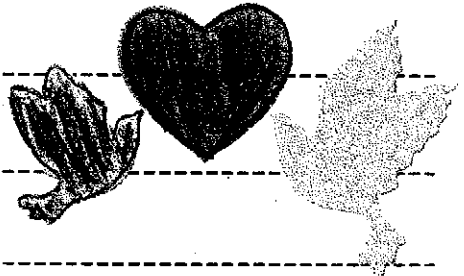
「どうして日本なの?」という疑問がどんどんわいてき

ました。

この原子爆弾をくったアメリカの人達に実際に

来ていただけてそのすまじさを

知ってほしいです。



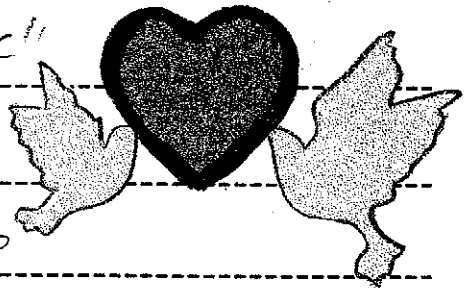
6年4組 大倉 芽文

池田 眞徳先生へ

今回、戦争のお話をしに来てくれて、  
ありがとうございます。

今回、授業を受けて戦争は、もうやっ  
てはいけないうちも、と思いました。私は、  
戦争の話で、兵隊の事は、あまり聞いた  
事は、なかつたけれど、今回聞いてみて、  
ふつうの住民の人よりも、兵隊の人の方が、  
大変だ、た、と思いました。住民も大変だ、  
た、けれど、兵隊は、死んでしまつた人を、  
おんぶしていたり、指示がでたら、その  
ように行動しなくてははいけないうち、  
とても大変で、じゅうような仕事なんだ、と  
と思いました。

私は、このような仕事や、空しゅうから、いげ  
たりした事は、ないけれど、  
戦争は、もうやっ、てはいけ  
ない事だ、と、気づきました。



沖 彩夏

池田先生へ

先日は松沢小学校に来て下さりありがとうございました。ごさりました。この時間目の授業を受けて、原爆投下の条件が、20才になると、ちょうど兵令がでて軍たいに入ることが分かり

ました。その他にも、戦争になると男性がいなくなるのは、軍たいからちょうど兵令がとられて戦上に行くからなんだ、なということも分かりました。また、女性の場合は、衝き手の男性がいなくなり、女性のくたちかにはたらかなきゃいけないんだということも分かりました。

そして、この時間目の広島に原爆投下のB29の飛行機の名前や、原子爆弾の爆弾の名前が分かりました。その他にもいろいろなお話が分かり、

この後の勉強にむかえて頑張りたいと思います。

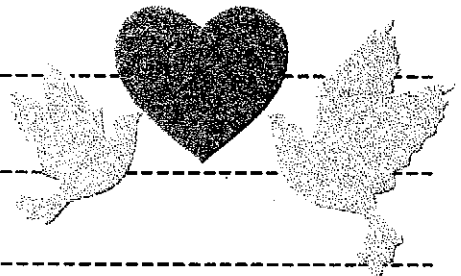
萩原青空

池田先生へ

・今回、原爆の事についておしえてくださって、ありがとうございます。ほくは、原爆直後の広島のように書いた本を持っていたのですが、全ぜん読んでいませんでした。けど、今回原爆の事について話を聞いたので、近いうちに、読んでみようという気持ちになりました。

今回、さいしょに、しりょうをくばってくださって、ありがとうございます。メモをとる時に、これはしりょうに書いてある。という事が、有機會もありました。

ほくが今回話を聞いて、一番に思った事は、原爆のこわさとおそろしさです。もう日本は、同じような事を、くり返さないようにしてほしいと思います。



6年4組 笠原宇純

池田 眞徳先生へ

この前はありがとうございました。原爆先生の授業を聞く前は広島原爆と聞いてもあまりピンとはこなかったけど、授業を聞いてその言葉では表せきれない原爆のすさまじさを知りました。話して聞いて頭の中で想像しただけでも体が少しふるえたのにそれを実際に自分の目で見た人は本当にその人しか知らないまようふたつたと思って心がしめつけられるような気持ちになりました。

1kgのウラニウムでもあんなにしょうけきがあったのに60kgを全て消費したら日本全体が焼け野原になってしまうのではな  
いかと思いました。体験者の池田先生のお父さんがビデオで話していた思い出す  
だけでむねがしめつけられ  
泣きたくなるようなことは  
一生おってはいけないとあらためて思いました。

6年4組 金子 舞渚

池田先生へ

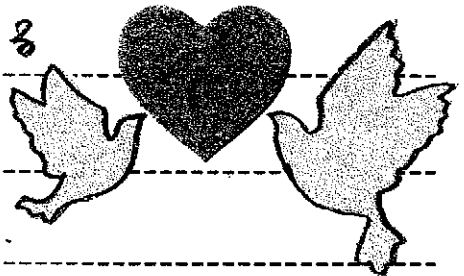
私は今まで、原爆という悲しいことが広島や長崎  
にあった、ということしか知りませんでした。でも、今日のお話を聞いて日本人で、徴兵令でかり出された少年や、  
人は被爆者を焼却場に運んだという大変な仕事をしながらも、自分の命も守らなければならず、苦しくつらい日々をおくっていたのだな  
と思いました。そして、アメリカのB29のエンジン  
の表面、7000℃という太陽より熱い原爆が、地面から600mの所にきた、ときいて、  
びっくりしました。もう、やけどがひどく、人が一瞬で灰になって、蒸気しか残った  
という原爆のいかに驚きました。

そして、池田先生の父、池田義三先生の話をきいて、実際にこの人が、原爆を体験したんだ  
と思いました。しかも、立っている

姿を見ると本当につらかったんだ  
と思いました。そして、こんな事は、

二度とおこしてはならないと思いました。

6年4組 上村 実奈





池田先生へ

先日はありがとうございました。

広島の原因は、原爆のおそろしさがとても伝わってきました。

原爆の表面温度は、太陽よりもあついことにビックリしました。

本当に原爆はおそろしいとあらためてじっかんしました。お父様の体験などを通して戦争の怖さ、苦しみなどがとてもよく分かりました。

私は、戦争を体験するが分からないけれど、

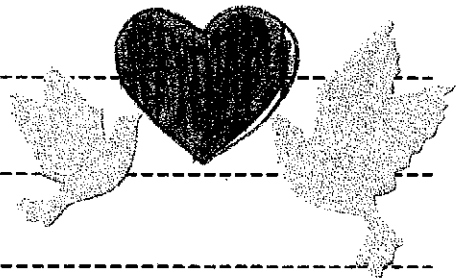
世界中のどこかでこのようなことがあまっていることを頭に覚えておきたいと思います。

また、このような苦しみがあまなないように一生戦争には反対したいです。また、原爆のおそろしさを伝えていきたいと思いました。

今回は、きょうなお話し

ありがとうございました。

6年4組 亀山 翔子



池田先生へ

お話しありがとうございます。

12月2日に東京大空襲の話を書いたとき、  
聞いてていただきたい気持ちになったけれど、  
原爆の話を書いて、昔の世界はくる、ていると  
思いました。話しの中の池田養三さんは、

今のぼくたちでは想像できないような、  
世界をみていたんだと思います。その想  
像できないような世界を二度もくり返さない  
ように話すことが原爆先生の使命なのか  
と思いました。今日、話してくれたとは、一言、

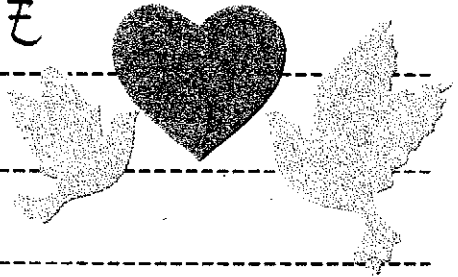
一言が耳に残り、とても苦しい気持ちに

なりました。原爆をおとしたアメリカは、  
戦争に勝ったけれど、それを市民がよること  
ぶのかは分かりません。現存、ぼくたちがい  
きているときに戦争がおきるかも

しれません。次の選挙でそれが

決まると思われました

6-4 後藤 桂



池田先生へ

今日は原爆についてのお話をして下さい。

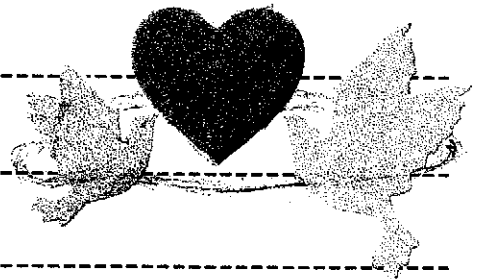
ありがとうございます。初めて知った  
ことや、驚いたことがいくつもありました。

その中でも特に驚いたことが2つあります。

1つ目は原子爆弾の威力です。1回の  
攻撃であれほど「まち」にこわしてほった  
のは、すごいと思うし、それのもとになった  
ものは1kgとしかいえないにも驚きました。

そして2つ目は死んでしまった人の多さ  
です。広島の人々の40%近くかてく

はってしまっただのは、とても悲しいことで  
かわいそうにも思えます。これから日本でも  
世界でも原爆が使われないようにして  
ほしいと思いました。

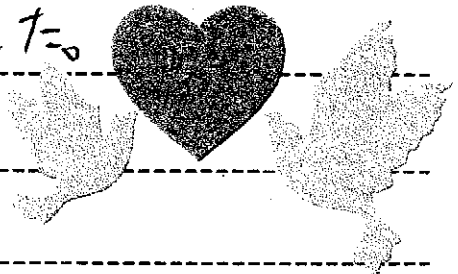


6年4組 小林美穂

こせ田さんへ

今日の話を聞いて広島の原爆くのことほと  
こせさんにくだり非たんなものかと思いました。  
トラックをまわっている間に原爆くにあててこせ  
非たと思はる原爆くか落ちたしけんかん  
こせもあてい音かして当たり前まわること目  
をあけるとまわりは火のうみたなつてこせも  
つらでした。その時もおきて火かやんだとき  
何千人もの死体をかたおけす。臭いかにこ  
地にくのうたものだったと思はる。トラック  
を見かけよしたるひんかかけ内かあ  
ちているのをみておそろしくものたかと思  
ました。それとも今の日本は平和口によつたと  
思ひまわるとおそろしく思ひまわ二度  
このようなことがおさないようにしたい  
であまりかたうたかいました。

6-14 舟藤源



原爆先生へ

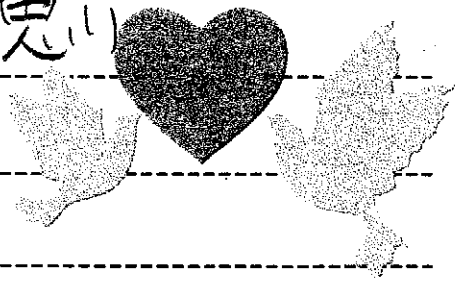
この間の原爆のお話、ありがとうございました。

ぼくは、今年の夏休みに戦争の事を調べて、ざんこくだなあと思、たのですが、話を聞いて、とてもこわくなりました。考えるにこわくなりました。あんなに恐ろしいことは絶えずにくり返してはいけないことだと思いました。

原爆によって亡くなった人々の事を考えると、なみだが出てきてしまいました。ぼくのおいちゃんも、空しゅうにあて、生きていることに感謝しているといっていました。

戦争は残くだなあと思、ました。

6年4組 齊藤友宏



池田先生へ

私は、今回の話を聞いて、原爆の恐ろしさが改めて  
わかりました。

かべ1枚でけがの重症が変わること、腐敗した時のにおい  
がものすごいこと、爆発した時の中心温度・表面温度  
が太陽よりも高く、人がいきなり灰になってしまうことなど、  
自分が今まで知らなかったことを、実際に経験した人の  
話を聞いて理解できました。

また、現在の社会には、広島原爆の1000倍の  
力がある核爆弾があることを知り、  
背ぞりかゾッとしました。

私は、このような惨事をもう二度と起こさない  
ように、どのような社会にしたいのか、  
自分たちで考えるべきだと思いました。

また、この惨事を後世に伝えていくことも、  
私たちが背負った役割だと思いま  
す。ありがとうございました。

坂田 新子



池田先生へ

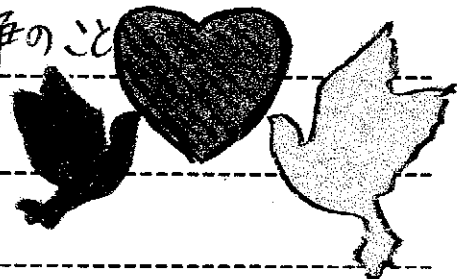
私は原爆先生の授業で、原子爆弾とはこんなにも  
すごい人数の命を消してしまふものだと、いうことが  
わかりました。被爆者たちの姿を想像した  
ただけでも鳥肌が立ってしまいました。私たちは  
人間の皮膚が焼けたたれているところなど  
見たことも無く見たくもないです。けれど  
軍隊の人は何度も何度もその光景を目にして  
いるので、辛かったらうかなと思います。

もうこのようなことが起きないように、  
日本は外国との関係をくずしてはいけな  
なと思います。これから生まれてくる人は、

戦争と無縁の人が多いいと思います。

私はそういう人たちに戦争はいけな、という  
ことを教えてあげたいです。たくさん人の悲しみを  
知ることを、あの日にならった戦争のこと  
を忘れないでいてほしいです。

ありがとうございました。



6年4組 白木 柚

池田先生へ

池田先生の話を聞き、改めて原爆の  
恐ろしさを知りました。

原爆はその場において死んでしまった人も  
いるが、た人も放射線が影響で、原爆病になり  
苦しい生活をあつたと思うのでとても怖いと思つた。  
当時の技術でそれほどの破壊力があつたのなら、  
技術が発達した今では当時よりも非害が  
大きくなると思うので戦争はやめてはいいかと思つた。  
ほくは原爆はパラシュートで落ちてきたものだと  
思つたが、パラシュートでおちてきたものは  
夫気や気温等を調節するものであつたことを知つた  
ので、アメリカ軍は確実に広島をぬすいた  
ことか分かりました。

長崎に原爆がおとされたのは、本当は福岡を  
ぬすつていたといふ説もありはか。

原爆をおとす条件をみて、長崎を  
本当はぬすつていたことか分かりました。

194組 鈴木一誠



池田先生へ

先日は、わざわざ松沢小来てもらいあ  
りがとうございました。私は今社会の時  
間で戦争ことについて勉強しています。  
戦争もうやめてはいけないと思ひました。池田  
のお父さんがかけつけたことを見てもう戦争  
はやらないようにしいと思ひました。  
わたしは、原爆ドームは広島県産業奨励  
館をしました。わたしは、池田さんの問  
題で1kgはとほはゆきのことだとし  
りであくりしました。わたしは、戦争のお  
話をきいて戦争はとてもおいことを  
しました。池田さんのお話を一番ここの  
のこったことは、原爆ドームでなせかゆ  
うとこうとはたてものだったからで。今日  
は戦争のお話をしてもあ。て  
ありがとうございました。

6年4組 高橋菜々

~NPO法人原爆先生 池田眞徳先生~

池田先生の話してメモをとるより、きいた方が  
わかりやすかったのでもっときいていました。

この前の別の先生の話してはメモばかりしていま  
したが、今回は、きくことばかりしていました。

実際の体験話だったから、という理由がかもしれま  
せんが、いつもより、ぜったいにきくということ

意識していました。

水曜日の戦争体験に続いて、

原爆先生の話も続き、戦争の恐しさ、  
近代的な科学の力の恐しさに驚き

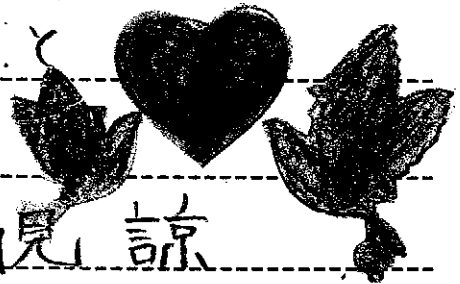
ました。世界が発達するという光が大きい

ければ、その裏でおこる戦争からの悲しみ  
という闇も大きくなることが分かりました。

これからは自分たちの番だと

実感しました。

松沢小学校 6年千組 高見 諒

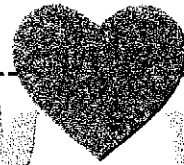


池田先生へ

先日は、原爆の事を教えるに、  
松沢小学校へ来ていただきありがとう  
ございました。この話を聞いて、  
7000℃とは、実感したことは、無いが  
原爆のおそろしさ、悲しさが伝わって  
きました。一番、ぼくが、この話を  
聞いておどろいたことは、体の水分  
が蒸発したといことが、一番おどろ  
きました。聞いてみると、ウラン  
など、知らない原料の名前が  
でてきてゴルフボール1個分と聞いて  
おどろきました。最後のビデオで  
原爆の映像をほじめて、みて、  
とても知らなかったことを、良く知る  
ことができました。

ありがとうございました。

6年4組 田中 開斗



◎池田眞徳先生へ◎

私は、この授業を受ける前は、「原爆が落とされた  
のは、日本が今までにやっていたことがひどいことだ」  
だったので、当時の報いた」と思って、いました。

そもそも、「原子爆弾」というものの、仕組みを知らな  
かったので、「多くの人が死んだ」のだなと、甘くみてい

ました。でも、実際に、原爆の落とされた、広島を  
見た人の体験したことを、映像で見れたり、聞けたり  
することで、実際には体験していないことも、体で  
感じることができました。

原爆にまつ、「すべてが一瞬にしていきとんで、広島  
の町の様子が映されている映像を見て、ただ、ぼう然  
と見ていました。アメリカの飛行機がとった、広島の上  
空の雲の様子などを見て、これで「ウランがたったの  
で燃焼したた」けなのだ」と知り、今、アメリカやロシア、

中国などのもっている核兵器は、本当に  
いけないと思いました。私は、世界が  
平和になってほしいと思うようになりました。

◎田畑 夏実◎

池田先生へ

今日は、原爆のいかに受けた人の皮がはがれるなどのぐろさ、恐さがよくわかる説明をしてくださってありがとうございます。

とくに心に残った"ゾンビ"のような姿がよく想像できて原子力爆発の恐ろしさがわかりやすかったです。

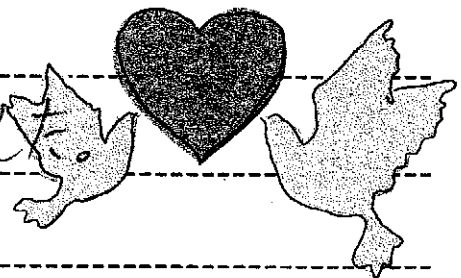
その"ゾンビ"のような人はたぶん死んでしまったと思う、次の日かその次の日から人の姿が見えなくなった時のうれしさがよくわかりました。

先生の説明は先生のお父さんが体験した話なので本で読むよりも

リアルに感じました。

今日はありがとうございます。

6-4 中條 武士

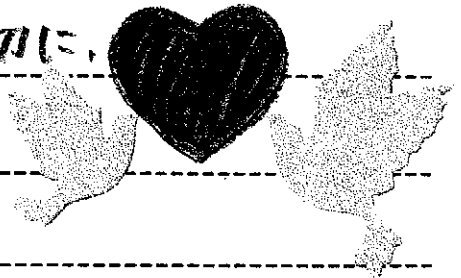


池田先生へ

原爆について教えてくださって、ありがとうございます。

原爆については、投下する場所のこうほが他にもあった  
ということも知り、その場所にも投下されていたら、被害は  
もっと大きくなっていたはずなので、おそろしいなと思い  
ました。原爆はたった1kgで、ゴルフボールくらいの大き  
さなのに、広島市内をはかいしてしまったと知り、「リトル  
ボーイ」のいかにおどろきました。池田先生のように、実際に  
戦争を体験をしていなくても、お父様に戦争や原爆のこ  
とを聞き、戦争から何年もたつてから生まれた私たちに伝え  
てくださる方がふえてくだされば、これから、戦争を防  
いでいけると思います。でも、お父様の「きれいすぎる」  
という言葉からわかるように、現実には、もっと地獄のよう  
な景色だ。たはずなので、とてもつらかった。た"るうなと  
思いました。現在でも、原爆を保有している国が"た"とさ  
んあるので、やっぱり、平和の心を大切に、  
していけたらいいと思いました。

6-4 豊田香乃子



池田先生へ

戦争のまじまじなお話をいただきありがとうございます。

ぼくがもっとも印象に残ったのは原爆をおとす場所が一番おさえていたのは京都ということですね。

ぼくはずっと広島を英雄的にしていたのではないかと思っていたのであ

どろきました。アメリカ軍は文化財がたくさんあるからという理由で

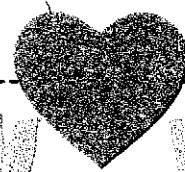
うたないのは戦争なのになぜかと思いました。そしてぼくは

戦争はいろいろの人にむかひをあたえてはもうこれからの未来

ではやってはいけないことなのだと思

改めて感じる事ができたと思いました。

6年4組中澤 凱



池田先生へ

先日は、わざわざ松沢小学校に来ていただき、私達6年生に戦争のお話をしてくださり、ありがとうございました。

先生のお話から、とても多くのことを学びました。それは、ただ戦争の起こった原因や内容を表面的に考えるのではなく、その戦争経験者であるお父様が書いた本の一節をとり上げて話したり、戦争で生き残った方のお話を映像で出したりと、戦争は遠い昔のことではないということを理解できるように教えてくださいました。今までは自分とは無関係だと思っていた戦争が、少しづつ戦争を身近に思えるようになりました。

特に興味を持ったのは、アメリカ軍が原爆を落とそうと候補にした京都に落とすのを、昔からの重要な文化財を守るかと日本人に配慮したからだということです。戦争中でもそんな思いやりがあるなら、戦争なんかしなければよかったのに...

と思います。また、先生に教えてもらったことを忘れず、これからは戦争のない世界にな

てほしいです。

6年4組 中村美鈴





池田先生

池田先生今回は、お話しをして  
くださりありがとうございました。

広島県で起った人が一、二  
人で死んでしまうような爆弾

が落とされたことを聞いて、この

ような事がおきるのはいけい  
と思います。太陽よりあつい

ものが自分達の600m上にはあり

しかもしょうけいもあつたんで

おそろしいと思います。しかも

にけいもあつたので、少し遠くは

行っただけで火傷してしまいました。

けれど、原爆は落とされたので

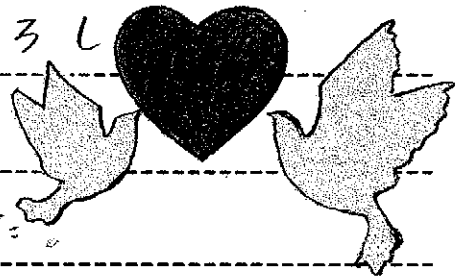
落とされたこともないと思います。

池田先生原爆のおそろし

さを教えてくれて本当に

にありがとうございました。

6-4 柳美希



7  
池田眞徳先生へ

先生の原爆の話を知って、太陽より熱いのが広島にやってきたということかととてもおどろかれました。

人が1秒にして消えてしまうほどの威力をもったものが落ちてくるおそろしさに分かりました。

先生の言っていたウラン。1kgで広島があんなふうになってしまったのに、ウランが60kgだと考えると、とてもおどろきました。

最後のビデオで池田さんのお父様が話しているのを見てとてもつらかったんだなと思いました。

おたしたちに原爆の話をおくしく話していただいたことありがとうございます。6-4 村井 那奈

池田先生へ

この前は、松沢小学校で原爆の話を

してくださり、ありがとうございました。

今回の話で、原爆のおそろしさを

改めて感じました。リトルボーイがいか

にすごいか分かりました。ウラニウムがくましか

燃えちゃうしなから、ひどかたけれど、ひがいを

最小限におさえられたけれど、もしつまれば

ウラニウムをすべて燃えちゃうさ。本当に

ひどいことになっていたら、かたしれませんね。

その事を思えば、本当に怖いなというふうに

思いました。広島におとされたリトルボーイの

他に、長崎におとされたファットマンも

すごかったそうですね。日本に原爆が2回も

おとされた。ひさんの過去を思い出しただけで、

泣いてしまう人の気持ち

が、わかったような気がしました。

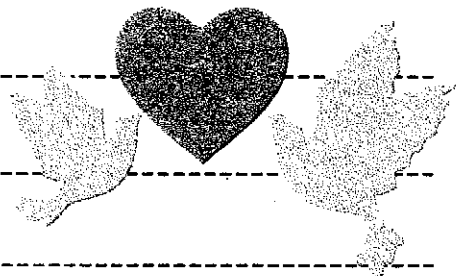
死亡率40%というのは、ひどいと思いました。

山崎亮太

池田先生へ

今回の話でぼくの生れていながら、た前のことまで  
知ることができて、さらに学習することができて  
昔のことでも少しだけ分かるようになりました。また、  
リトルボーイの重さや長さのてがさにびっくりし  
ました。そして、ウランが60kgの中で1kgだけ  
けでもすごい力がある。もし60kg分のウラン  
が落ちてきたらとんでもないことになってい  
たので、またよかったです。たけれど、  
広島で1kg分落ちてしまったのは、かわいそう  
だと思いました。今日ぼくが学習したこと  
は、絶対に忘れてはいけなないことだと思  
います。そして、今の時代では、もう、ものすごい  
ウランがあっていると聞いて、こわいし、あぶ  
ないと思いました。そしてこれからは、平和  
を大切にしたいです。

六年四組 山下 玲奈



池田先生へ

池田先生今回はありがとうございました。  
した。

原爆の話を聞いて、あらためて原  
爆のおそろしさを知りました。

また、資料から見て、先生の話を聞いて  
新しく知ることたくさんありました。  
広島、長崎に原爆がおとされて、  
亡がいを受けたのは知っていただけ、  
さんなにも、亡がいがあり、死者がど  
たというのほび、くりというか、もうおちが  
痛くなり、話を聞いてても、が、とドキド  
キがとまらいくらいでした。

爆たんが落下するビデオを見た時に、  
落下する、おん前息がとま、たかのようにも  
うおそろしかった。そしてにかくお  
そろしいことが、先ずの話  
からとても伝わりました。

6年4組 山田 乙乃

池田先生へ

今回はとても分かりやすくお話ししてくださって  
本当にありがとうございます。

ぼくは原爆のはかい力は本当にすごいで聞いて  
いてどんな話をしてくれるかすごく楽しみにして

いました。実験に聞いていてとてもリアルで途中で

聞いていました。話し方がすごく上手でハラハラ

してしまいました。話でこんなにハラハラしたのは

はじめてです。原爆は本当にすごく爆弾で

とてもこわいです。爆心地ではあまりのあつさで

1秒で人が蒸発して消えるように見えると

知って「信じられない!」と思っていたけれどその蒸発

した人のかけが残る写真を見て生き地ごとのよ

うたと思いました。それでも60kgウランのうち1kgウラン

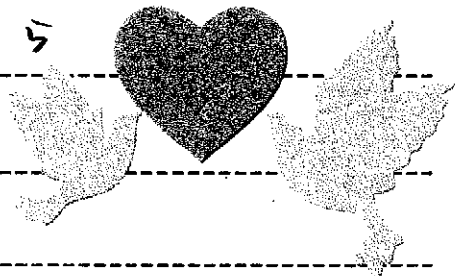
しか爆発していなくてこんなにすごくこわい

だったのは60kgウランが爆発したら

60倍ですまないと知って本当に

すごく爆弾に思いました。

6-4 疾風奏



池田眞徳先生へ

今回の原爆のお話ありがとうございます。

私は広島から来た転校生で、あるほど知ってはいました。

ですが、リトル・ボーイや、エノラ・ゲイなどの名前までは知らなくて

「こんな名前なんだ」と思いました。広島に住んでいたのが資料館も

行ったことがあって人形も見ました。ろうそくほけもので

皮ふがただれているのが再現にあって少しわがたのは、覚えてます。

でもVTRで「人形はきれすぎる。」と言っていて私はびっくりしました。

紙屋町や宇土など知ってる名前ができて、日本は

こんなに悲さんになっていて、でも人の努力で、ここまで大きい国に

なったんだなと思います。8月6日の8:15分には全生徒私の前の

学校)があつた目どうもしています。そんな広島の人たちを見ていると

平和が一番と、本当に思います。池田先生は、どう思いますか?

でも日本は悪くないとは思いません。日本もじゅうぶん悪いことを

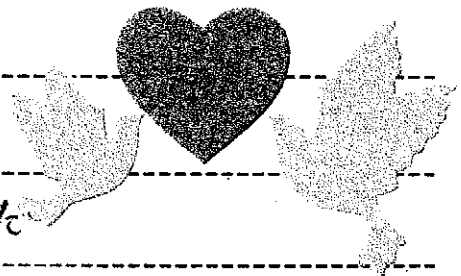
したとは思いました。でも、単で争で決める以外、なかつたのか。

戦争にはメリットがあるのか。

それを考えて、平和を願います。

そして平和は大切ということもこれから伝えていた

さい。



6-4 小林可奈

池田 眞徳 先生へ

この前は、さまざまな話を教えてくださり、  
ありがとうございました。実際に池田先生  
のお父様が体験して、感じたこと、思ったこと  
が伝わりました。原爆の爆弾の力が今まで  
思っていたより、大きくて、おどろきました。そして、  
爆発した中心部が100万度以上あること、  
周りは7000度もあることに衝撃しました。

すべてのものが溶けて、気体になり、体の中の水分  
も蒸発し、一瞬のうちにすみになっている姿を  
見せていただきました。おどろきました。

私は今まで、広島と長崎におとしたことしか

しらなかった。なので、実際に戦争を体験し、  
戦争の様子を見た方の話を聞いてよかったです。  
現在の世界を大切に、絶対に戦争  
をしない世の中にしたいと改めて

思いました。そして、今自分が

幸せだということをしかりと知って生活してい  
たいです。ありがとうございました。 瑞野 寧々